

地域保健福祉推進協議会

第1回健康あだち21専門部会報告資料

平成28年6月30日

件名	40歳前の健康づくり健診の実施方法の変更について		
所管部課	衛生部衛生管理課		
内容	40歳前の健康づくり健診について、利用者の利便性を高めるため、下記のとおり実施方法を変更する。		
		平成27年度	平成28年度
	実施体制	2日コース 1日コース	1日コース
	実施回数 (5センター計)	59回 〔1日制28回〕	40回
	受診実績見込数 (5センター計)	1,522人	1,560人
	1 変更点 2日コースを廃止し、全て1日コースとする。		
	2 変更理由 <ul style="list-style-type: none"> ● 健診結果に異常がなければ、結果は郵送するため、1日で健診を終了することができ、健診が受けやすくなる。 ● 定員は、実績見合いに変更する。 		
	3 健診の流れ 資料1-1のとおり		



健診の流れ図

2日コース健診の流れ	1日コース健診の流れ (H28年度から)																								
<p>(1日目)</p> <p>① 受付 ↓</p> <p>② 血圧・身体測定・体組成計 ↓</p> <p>③ 尿検査 ↓</p> <p>④ 保健師問診 ↓</p> <p>⑤ 腹囲測定 ↓</p> <p>⑥ 栄養士問診 ↓</p> <p>⑦ 歯肉健康チェック ↓</p> <p>⑧ 診察 ↓</p> <p>⑨ 採血</p>	<p>(1日目)</p> <p>① 受付 ↓</p> <p>② 血圧・身体測定・体組成計・唾液検査 ↓</p> <p>③ 尿検査 ↓</p> <p>④ オリエンテーション・保健師問診 ↓</p> <p>⑤ 腹囲測定 ↓</p> <p>⑥ 栄養士問診 ↓</p> <p>⑦ 歯肉健康チェック・唾液検査結果 ↓</p> <p>⑧ 診察 ↓</p> <p>⑨ 採血 ↓</p> <p>⑩ 個別指導</p>																								
<p>(2日目) ※3週間程度後</p> <p>① 受付《結果書と資料配付》 ↓</p> <p>② 集団指導 (保健師・栄養士・歯科衛生士) ↓</p> <p>③ 個別相談</p>	<p>(結果判定後) ※3週間程度後</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">異常なし</th> <th colspan="2" style="width: 35%;">要指導 HbA1c 数値</th> <th colspan="2" style="width: 35%;">要医療</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td style="text-align: center;">↓</td> <td style="text-align: center;">↓</td> <td style="text-align: center;">↓</td> <td style="text-align: center;">↓</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td style="text-align: center;">5.6未満 ↓</td> <td style="text-align: center;">5.6～ 6.5未満 ↓</td> <td style="text-align: center;">結果郵送 ↓</td> <td style="text-align: center;">対面渡し ↓</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">結果郵送 ・健診結果 ・健診カルテ ・リーフレット 等</td> <td style="vertical-align: top;">結果郵送 ・健診結果 ・健診カルテ ・リーフレット 等</td> <td style="vertical-align: top;">結果郵送 ・健診結果 ・健診カルテ ・リーフレット 等 ※糖尿病予 防相談案内 同封(来所 依頼)</td> <td style="vertical-align: top;">結果郵送 ・健診結果 ・健診カルテ ・リーフレット 等 ※3か月後 に受診確 認</td> <td style="vertical-align: top;">来所依頼 ・結果説明 ・個別相談</td> </tr> </tbody> </table>					異常なし	要指導 HbA1c 数値		要医療		↓	↓	↓	↓	↓	↓	5.6未満 ↓	5.6～ 6.5未満 ↓	結果郵送 ↓	対面渡し ↓	結果郵送 ・健診結果 ・健診カルテ ・リーフレット 等	結果郵送 ・健診結果 ・健診カルテ ・リーフレット 等	結果郵送 ・健診結果 ・健診カルテ ・リーフレット 等 ※糖尿病予 防相談案内 同封(来所 依頼)	結果郵送 ・健診結果 ・健診カルテ ・リーフレット 等 ※3か月後 に受診確 認	来所依頼 ・結果説明 ・個別相談
異常なし	要指導 HbA1c 数値		要医療																						
↓	↓	↓	↓	↓																					
↓	5.6未満 ↓	5.6～ 6.5未満 ↓	結果郵送 ↓	対面渡し ↓																					
結果郵送 ・健診結果 ・健診カルテ ・リーフレット 等	結果郵送 ・健診結果 ・健診カルテ ・リーフレット 等	結果郵送 ・健診結果 ・健診カルテ ・リーフレット 等 ※糖尿病予 防相談案内 同封(来所 依頼)	結果郵送 ・健診結果 ・健診カルテ ・リーフレット 等 ※3か月後 に受診確 認	来所依頼 ・結果説明 ・個別相談																					

地域保健福祉推進協議会

第1回健康あだち21専門部会報告資料

平成28年6月30日

件名	がん検診・成人歯科健診における受診券方式の実施について																																																																																																										
所管部課	衛生部衛生管理課																																																																																																										
内容	<p>区民の利便性の向上と検診受診率の向上を図るため、その年度内に受診可能な検診について、一覧で表示した「がん検診・成人歯科健診受診券」を、勧奨対象者に送付する。</p> <p>1 勧奨対象者</p> <p>次の年齢（年度末現在）のいずれかに該当する方、及び前年度受診者（肺がん検診、大腸がん検診）、前々年度受診者（子宮頸がん検診、乳がん検診）に受診券を送付し、受診勧奨を行う。</p> <p>なお、この対象者以外で検診を希望する方には今まで同様、ハガキ、インターネット、窓口（健診保健サービス係・各保健センター等）で申し込みを受け付ける。</p> <p><節目年齢勧奨対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">検(健)診名</th> <th colspan="11">年 齢</th> </tr> <tr> <th>20</th> <th>25</th> <th>30</th> <th>35</th> <th>40</th> <th>45</th> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>70</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がんハイリスク</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん</td> <td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>■</td><td>■</td> </tr> <tr> <td>成人歯科</td> <td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td> </tr> </tbody> </table> <p>  …H28年度追加勧奨対象年齢  …H27年度勧奨対象年齢 </p> <p>2 スケジュール</p> <p>平成28年5月下旬 前年度受診データを取り込み対象者抽出 平成28年6月 印刷・封入封緘、発送</p> <p>3 発送見込数 131,000件</p>	検(健)診名	年 齢											20	25	30	35	40	45	50	55	60	70	胃がんハイリスク					■	■	■	■	■	■	■	肺がん					■	■	■	■	■	■	■	大腸がん					■	■	■	■	■	■	■	子宮頸がん	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	乳がん					■	■	■	■	■	■	■	前立腺がん										■	■	成人歯科	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
検(健)診名	年 齢																																																																																																										
	20	25	30	35	40	45	50	55	60	70																																																																																																	
胃がんハイリスク					■	■	■	■	■	■	■																																																																																																
肺がん					■	■	■	■	■	■	■																																																																																																
大腸がん					■	■	■	■	■	■	■																																																																																																
子宮頸がん	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■																																																																																																
乳がん					■	■	■	■	■	■	■																																																																																																
前立腺がん										■	■																																																																																																
成人歯科	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■																																																																																																

4 受診方法

- (1) 交付された受診券を足立区医師会加盟の指定医療機関（約250機関）に持参する。
- (2) 医療機関窓口で、受診票を受領し、住所・氏名、及び問診等を記入する。
- (3) 受診後、医療機関が受診券に受診日・医療機関名を記入し本人に返却する。
- (4) 受診券は、1年間本人が保管する。

地域保健福祉推進協議会

第1回健康あだち21専門部会報告資料

平成28年6月30日

件名	糖尿病眼科健診の実施について
所管部課	衛生部衛生管理課
内容	<p>眼底検査等で糖尿病網膜症等を早期に発見するとともに、内科と連携することにより糖尿病の重症化を防ぐために、糖尿病眼科健診を実施する。</p> <p>1 実施スケジュール 平成28年6月末 システム改修完了 平成28年7月 対象者抽出、勸奨通知封入封緘、発送</p> <p>2 対象者 45歳、50歳、55歳、60歳の足立区国民健康保険加入者で、以下の条件のいずれかに該当する者 ①前年度足立区国民健康保険特定健診未受診者 ②前年度足立区国民健康保険特定健診眼底検査対象者で眼底検査未受診者 ③前年度足立区国民健康保険特定健診でHbA1cが5.9%以上だったが、糖尿病、脳卒中、心臓病、慢性腎臓病の既往歴により眼底検査の対象から除外された者</p> <p>3 対象者数見込み 約10,000人</p> <p>4 受診方法 (1) 糖尿病眼科健診受診券を、指定眼科医療機関に持参する。 (2) 医療機関窓口で、受診票を受領し、住所・氏名・問診等を記入する。 (3) 健診を受診する。 (4) 健診結果報告をその日に聞くとともに、健診結果控えを受領する。</p> <p>5 実施方法 足立区医師会に委託する。</p>

地域保健福祉推進協議会

第1回健康あだち21専門部会報告資料

平成28年6月30日

件名	平成27年度ころといのちの相談支援事業の実績報告について							
所管部課	衛生部ころとからだの健康づくり課							
内容	<p>平成27年度ころといのちの相談支援事業における主な取り組み結果及び平成27年足立区自殺者数について報告する。</p> <p>1 足立区自殺者の現状 27年度 136名 (26年度 142名) (資料4-1、2参照)</p> <p>2 当事者に対する支援 (1) 雇用・生活・ころと法律の総合相談会 ころの相談ブース開設日数 25日間 相談人数 51人 (うち自殺念慮者 16人) (2) 40歳前の健康づくり健診での不眠チェック 受診者数 1,792人中、医療機関受診が必要な者 29人 (男性5人、女性24人) (3) 遺族支援 分かちあいの会「とまり木」 12回実施 参加者：実25人、延べ66人</p> <p>3 関係機関とのネットワーク構築 (1) ころといのちの相談支援ネットワーク会議 (8/3、8/26) 主な参加機関：庁外32機関、庁内22課 (2) つなぐシート連携状況 199件/年 (前年度87件) (3) 自殺未遂者ケア研修【足立区医師会共催】(3/16) 参加者：53人 医師、病院職員、警察署、消防署、地域包括支援センター、保健師等</p>							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>講義内容</th> <th>講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足立区の自殺の実態と ころといのちの相談支援事業</td> <td>ころとからだの健康づくり課 馬場優子課長</td> </tr> <tr> <td>連携することで解決に 向かった成功事例の紹介</td> <td>東京足立病院 医療相談室 上野相談員</td> </tr> <tr> <td>「自殺したいと言ったら」 評価と対応について</td> <td>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究 部長 松本俊彦医師</td> </tr> </tbody> </table>	講義内容	講師	足立区の自殺の実態と ころといのちの相談支援事業	ころとからだの健康づくり課 馬場優子課長	連携することで解決に 向かった成功事例の紹介	東京足立病院 医療相談室 上野相談員	「自殺したいと言ったら」 評価と対応について
講義内容	講師							
足立区の自殺の実態と ころといのちの相談支援事業	ころとからだの健康づくり課 馬場優子課長							
連携することで解決に 向かった成功事例の紹介	東京足立病院 医療相談室 上野相談員							
「自殺したいと言ったら」 評価と対応について	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究 部長 松本俊彦医師							

(4) 区内救急指定病院訪問調査

自殺未遂者救急搬送の実態を調査するため、区内にある救急指定病院を訪問調査。

実施期間：平成 27 年 10 月～12 月

対象：足立区内救急指定病院の院長、事務長、看護師長等（訪問調査の同意が得られた 23 病院）

結果：①自殺未遂者を受け入れていたのは 4 病院

（平成 27 年 9 月の 1 か月間）

②夜間帯は精神科クリニック等との連絡がとれず、連携が難しい。

③相談窓口一覧カードの設置を依頼

4 人材育成

(1) ゲートキーパー研修

【初級】日時：8/21PM

参加人数：98 人

参加者：区職員、健康づくり推進員、地域包括支援センター、
介護・医療従事者、議員等

【中級】日時：12/2AM, 2/5PM

参加人数：計 108 人

対象：区職員（管理監督者）、民生・児童委員

【上級】日時：1/22PM

参加人数：112 人

参加者：区職員、健康づくり推進員、地域包括支援センター、
介護・医療従事者等

【出張】住区センター 18 館 605 人

小中学校主幹教諭 107 人

その他 5 回 328 人

5 啓発

(1) 若年者向けの取り組み 特別授業「自分を大切にしよう」

①区内都立高校 2 回実施 計 539 人

(27 年度までに 8 校実施済み)

②区立中学校 24 校実施 計 4,965 人

(27 年度までに 33 校実施済み)

③区立小学校 6 校実施 計 908 人

(27 年度までに 12 校実施済み)

(2) 自殺対策強化月間（9 月、3 月）の取り組み

①パネル展示：全図書館・本庁舎アトリウム

②懸垂幕・横断幕掲出：本庁舎前

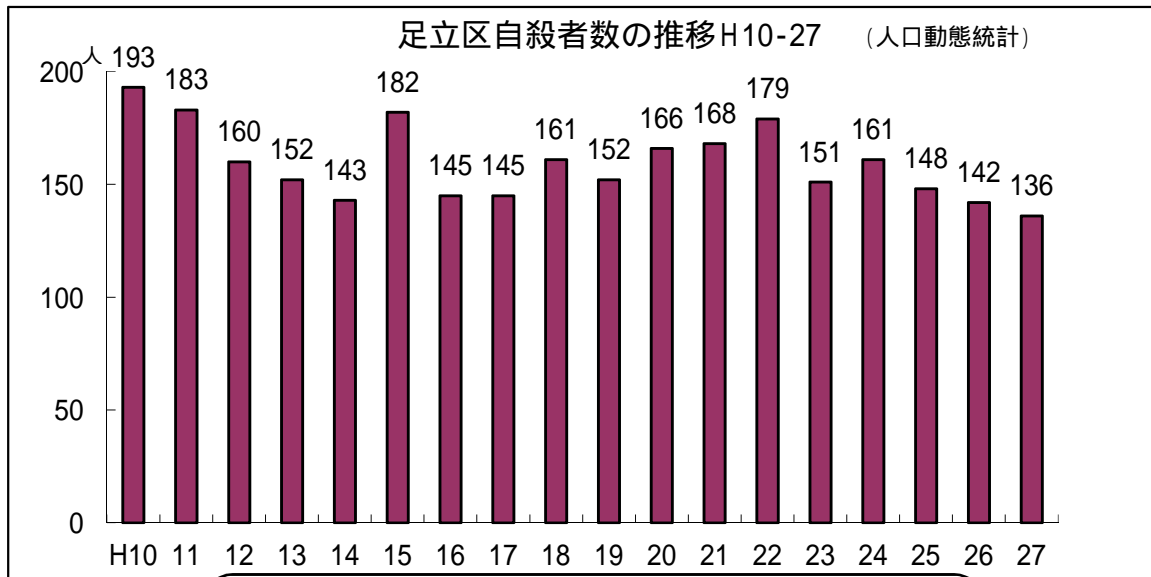
③ビュー坊テレビ：啓発 DVD 及び啓発画像放映

④ポスター掲示：庁内、都バス、はるかぜ車内、警察署、消防署、駅
医療機関、浴場等

⑤あだち広報 特集号 9/10 号

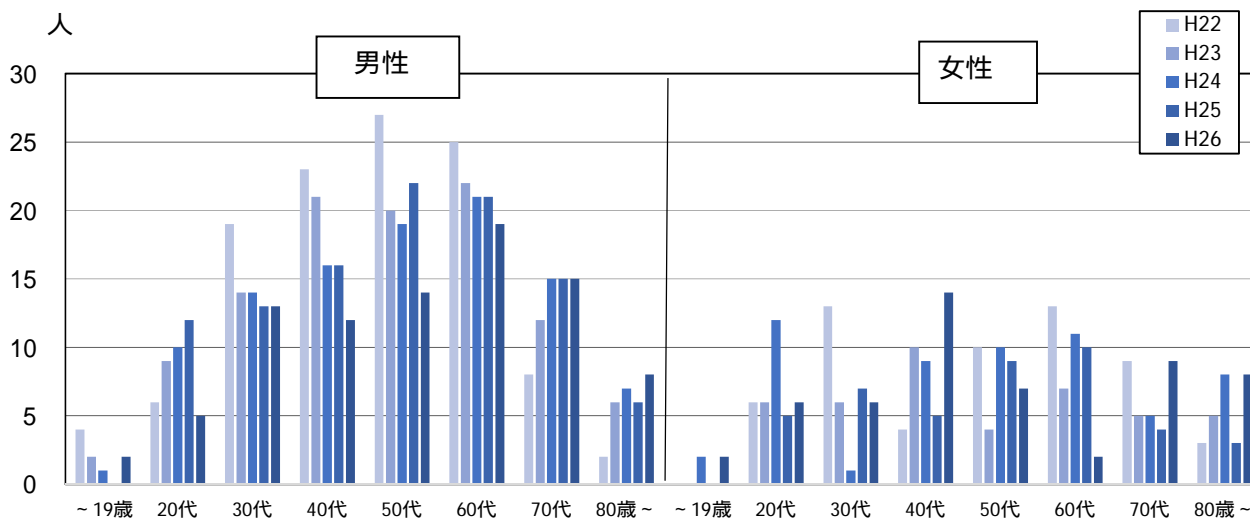
	<p>⑥こころといのち講演会 各保健センターで実施 参加者計 123 人</p> <p>(3) イベントでの啓発 春の花火と千本桜まつり、区民まつり、こころの健康フェスティバルの啓発クイズ、パネル展示、相談カード配布 2,500 枚</p> <p>(4) 女性向け相談カードの設置</p> <p>①庁舎内 1～3 階の女性トイレ（個室）にカードを設置 3,524 枚</p> <p>②本庁舎内、窓口を有する所管カウンター等 22 か所 4,594 枚</p> <p>③区内救急指定病院、精神科クリニック等</p>
--	--

【 足立区自殺者の現状 】



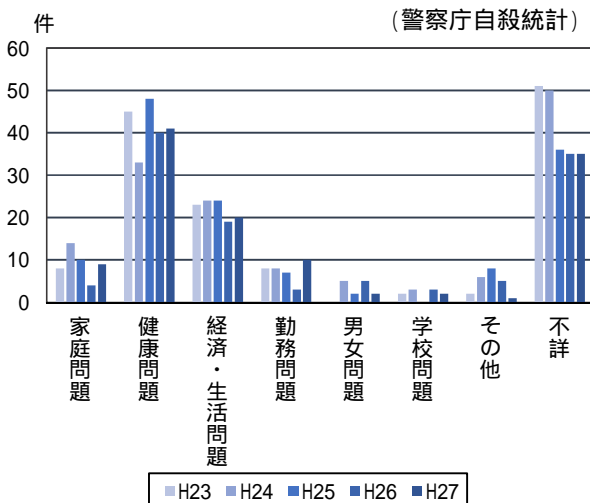
自殺者数が急増した平成10年と平成27年を比べると、
 足立区29.5%の減
 東京都10.8%の減(26年比)
 全国23%の減(26年比)である。

男女別・年齢別自殺者数推移【H22-26】(人口動態統計)



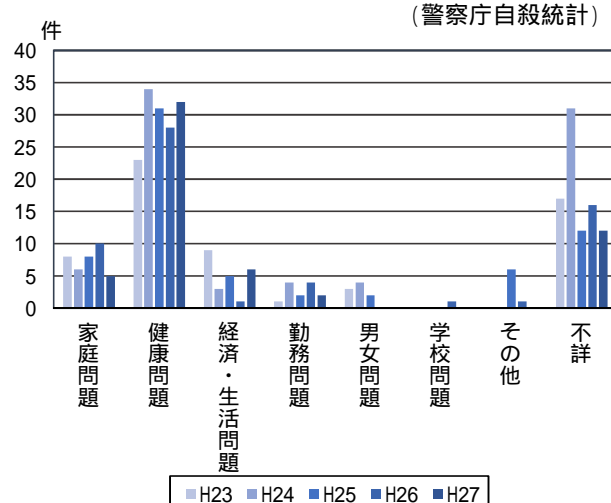
原因・動機別H23-27【男性】

(警察庁自殺統計)

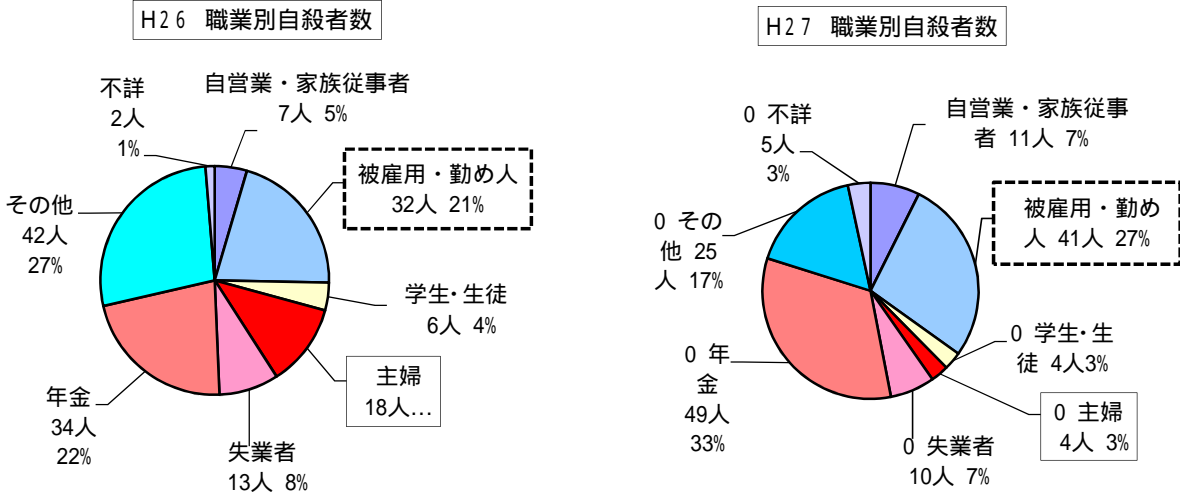


原因・動機別H23-27【女性】

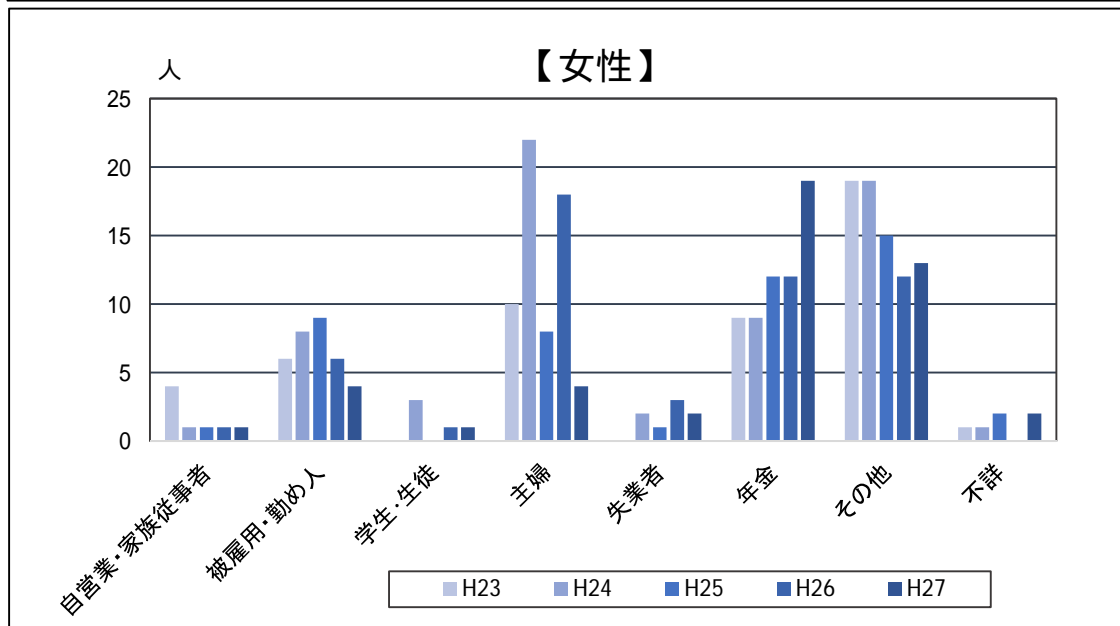
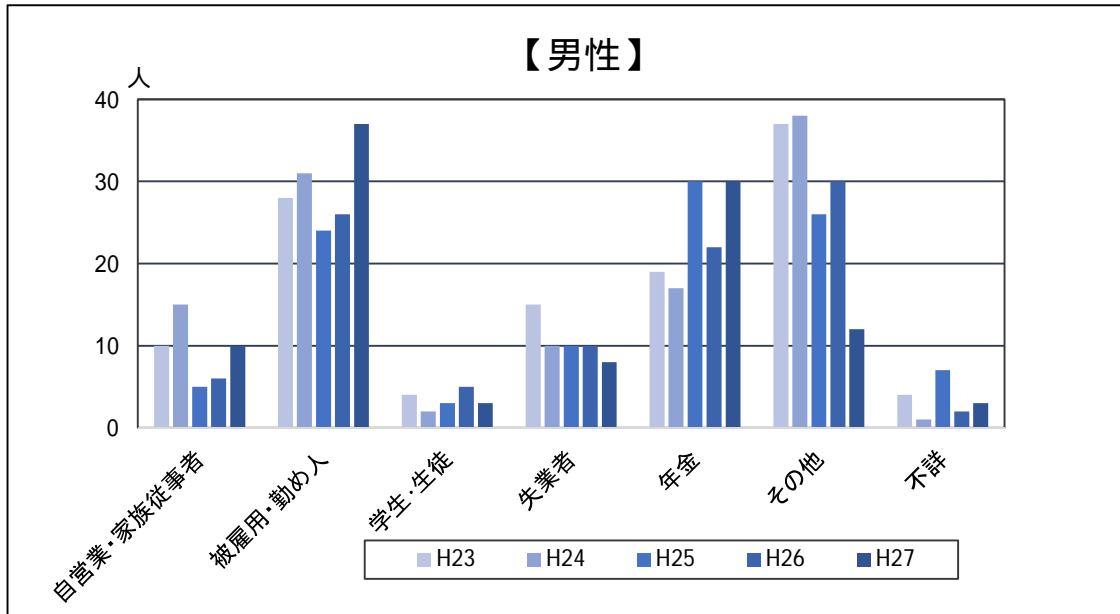
(警察庁自殺統計)



足立区職業別自殺者数【H26・H27比較】警察庁自殺統計



足立区職業別自殺者数の推移【H23-27】警察庁自殺統計



地域保健福祉推進協議会

第1回健康あだち21専門部会報告資料

平成28年6月30日

件名	平成28年度ころといのちの相談支援事業の主な取組みについて
所管部課	衛生部ころとからだの健康づくり課
内容	<p>平成28年度主に以下の事業を実施する。</p> <p>28年度に重点的に取り組む層</p> <p>① 20代までの男女（一次予防）</p> <p>② 女性（20～40歳代 健康・家庭問題あり）</p> <p>③ 男性（40～60歳代 経済・生活問題あり）</p> <p>1 関係機関とのネットワーク構築</p> <p>(1) ころといのちの相談支援ネットワーク会議 8/2、8/25 予定 参加予定機関：庁外 32 機関、庁内 22 課</p> <p>(2) 足立区医師会と連携した自殺未遂者支援連携モデルの構築</p> <p>① 現在実施している連携モデル病院において、自殺未遂者支援の事例を重ねながら課題を明確化し、自殺未遂者ケア研修で共有化する。</p> <p>② 足立区医師会と共催で医療従事者向け自殺未遂者ケア研修を継続実施し、顔と顔がつながるネットワークを目指す。</p> <p>③ 新たに、高齢者向け相談カードを作成し、医療機関等に設置を依頼する。</p> <p>(3) つなぐシートの活用</p> <p>2 若年者向け自殺予防対策</p> <p>教育委員会と連携し、自殺対策基本法に学校の役割が盛り込まれたことを踏まえ、いじめ対策と連動した子ども向け自殺予防対策の更なる推進。</p> <p>(1) 区内小・中学校教員向け研修会の実施（7/28、11/10 実施予定）</p> <p>(2) 中学校及び小学校にて特別授業実施</p> <p>3 女性の自殺対策</p> <p>自殺念慮者及び自殺念慮を抱える恐れのある区民に対し、生活困窮、子どもの貧困という視点も含め、これまで以上に広く対象者をスクリーニングし、問題の困難性が高まる前に、できるだけ早期に包括的な支援につなげる。</p> <p>(1) 女性向け相談カードの設置 新たにエル・ソフィア（女性トイレ個室）に設置</p> <p>(2) 女性が多く来所する所管との連携を強化し、つなぐシート（共通相談概要・紹介票）の活用をすすめる。</p>

4 当事者に対する支援

- (1) 40歳前の健康づくり健診での不眠のチェック
- (2) 遺族支援 わかちあいの会 (月1回)

5 人材育成

- (1) ゲートキーパー研修の実施

【初級】 1回実施 7/13 予定

対象：区職員、関係機関等

【中級】 2回実施 11/16、H29年2月予定

対象：区職員（管理監督者）、民生・児童委員

【上級】 1回実施 9/26 予定

対象：区職員、関係機関、民生・児童委員等

【出張等】

住区センター

小・中学校教員

町会・自治会

他団体等

6 啓発・区民への周知

- (1) 自殺対策強化月間（9月、3月）の取り組み

①パネル展示：全図書館/本庁舎アトリウム

②懸垂幕・横断幕掲出：本庁舎前

③ビュー坊テレビにて啓発DVD、啓発画像放映

④ポスター掲示：庁内、都バス、はるかぜ車内、警察署、消防署、駅
クリニック、浴場等

⑤あだち広報 特集号 9/10号

- (2) イベントでの啓発

千本桜まつり、区民まつり、こころの健康フェスティバルでの啓発
クイズ、パネル展示、相談カード配布

7 計画の策定

自殺対策基本法が改正され、都道府県・市町村は自殺対策計画を「定めるものとする」として弾力的な義務付けがされた。今後策定される都自殺対策計画とも連動して、足立区自殺対策戦略会議で定めている方向性を区医師会等の意見も取り入れ、区の計画として今年度末までに作成する。

地域保健福祉推進協議会

第1回健康あだち21専門部会報告資料

平成28年6月30日

件名	足立区糖尿病対策アクションプランに基づく平成27年度事業の概要報告について
所管部課	衛生部こころとからだの健康づくり課
内容	<p>平成26年9月に改定した「足立区糖尿病対策アクションプラン」に基づき、平成27年度の主な実施結果を報告する。</p> <p>1 野菜が食べやすい環境づくり</p> <p>(1) あだちベジタベライフ協力店 ベジ・ファーストメニューや野菜たっぷりメニューを提供する店舗数…624店（平成28年3月末現在） 6月の食育月間、11月の糖尿病予防月間で、野菜増量メニューや野菜120g以上のヘルシーランチ等を提供</p> <p>(2) 区民の野菜摂取 1日あたりの推定平均野菜摂取量…233g 前年度より13g増加。（国が示している目安は1日あたり350g） 区実施の簡易型自記式食事歴法質問票（BDHQ）による食習慣調査に基づく。</p> <p>(3) 区ホームページやクックパッドにおける啓発 ①区ホームページへのレシピ掲載数…54品 ②レシピ投稿サイト「cookpad（クックパッド）」に足立区公式キッチン「東京あだち食堂」を開設 ベジレシピ掲載数…62品（平成28年3月末時点）</p> <p>(4) 北足立市場協会やJA東京スマイルとの連携 ①北足立市場にて新鮮野菜の販売、体組成測定や抽選会等を実施。平成27年6月27日開催、来場者数3,000人 ②JA東京スマイル貯金デーの野菜販売会場にて、2種類の「やさしい100グラムレシピ」を配布 平成27年12月28日 各85枚 平成28年 1月26日 各50枚</p>

2 子ども・家庭の良い生活習慣の定着

(1) 「あだちっ子・いい歯推進園表彰事業」の実施【資料12-1-(6)】

(2) 歯科健診後の治療受診勧奨の強化【資料12-1-(2)】

(3) 区立保育園における野菜料理作り体験（子ども家庭部）（資料14）

3 糖尿病重症化予防

(1) 保健師による重症化予防訪問の実施

①平成27年度の実施状況

対象者は、足立区国保40～59歳、27年度特定健診結果 HbA1c 値7%以上で糖尿病治療をしていない方 220人（平成28年5月10日現在）

②平成26年度訪問対象者の改善状況（資料8）

(2) 医師会、歯科医師会、薬剤師会の連携による糖尿病合併症予防の仕組みづくり（資料10）

(3) 薬剤師会による糖尿病重症化予防フォロー事業の実施

区内10薬局において、HbA1c 値測定の結果、糖尿病が疑われる HbA1c 値6.5%以上の区民を医療機関へ受診勧奨

（平成28年3月末現在）

	HbA1c 値測定者数	HbA1c 値6.5%以上の人数	受診確認できた人数
足立区民	271人	17人※	7人
区外	288人	56人	—

※17人のうち、すでに医療機関で治療中であった者 8人

(4) 各種イベントでの血糖値測定

春の花火と千本桜まつり、区民まつり、糖尿病週間、就学時健診、小児生活習慣病予防健診事後講演会等での測定

簡易血糖値測定者数	3,453人
うち、HbA1c 値測定者数	627人
うち、要指導・要治療者 (5.6%以上の者)	95人

(5) HbA1c 値7%以上の区民割合（足立区国保40～74歳の特定健診受診者のうちHbA1c 値7%以上の者の割合）

H23	H24	H25	H26	H27
5.31%	4.94%	4.70%	4.50%	4.52%

4 今後の方針

平成25年度から開始したアクションプランに基づく糖尿病対策も今年度で4年目となる。今までの事業成果等について区民にわかりやすく発信するため、医療費の削減効果などの数値化を図る。

地域保健福祉推進協議会

第1回健康あだち21専門部会報告資料

平成28年6月30日

件名	国民健康保険の医療費と特定健診の糖尿病関連指標と今後の取り組みについて
所管部課	区民部 国民健康保険課 区民部 ジェネリック・保健事業推進担当課長
内容	<p>足立区国民健康保険における平成27年5月診療分の歯科と調剤を除く疾病別費用額（保険者負担分と被保険者負担分の合計額）及び平成27年度に実施した特定健診受診者のHbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）の状況は、以下のとおりである。</p> <p>1 平成27年5月疾病別費用額（歯科・調剤除く）（資料7-1） 診療報酬明細書で請求された費用額を、主傷病で集計した費用額上位20位までのものとする。</p> <p>（1）費用額の上位 ①腎不全 ②高血圧性疾患 ③糖尿病 （2）件数の上位 ①高血圧性疾患 ②糖尿病 ③その他の内分泌栄養及び代謝疾患 （3）1件あたり費用額1位の腎不全には、人工透析による治療費も含む。</p> <p>2 特定健診受診者のHbA1cの状況 平成27年度の足立区国民健康保険における特定健診受診者の状況は、資料7-2のとおりである。</p> <p>平成27年度足立区国民健康保険特定健診受診者は60,558人であり、受診率は45.3%でした。そのうちHbA1c6.5%以上（受診勧奨レベル）は5,137人（8.6%）で、合併症予防レベルのHbA1c7%以上は2,728人（4.6%）であった。</p> <p>なお、日本糖尿病学会では、糖尿病合併症予防のための目標値はHbA1c7.0%未満と定めており、日本糖尿病学会の糖尿病治療ガイドでは、この値の6.5%以上を糖尿病型と区分している。</p> <p>3 糖尿病性腎症重症化予防事業 平成27年度から開始した事業であり、糖尿病でかつ腎機能が低下し人工透析の予備群に該当する者を抽出し、健康状態の維持向上を目指している。</p> <p>対象者は、前年度特定健診の受診者で、①HbA1c7.0%以上、②40～69歳、かつ③尿蛋白（2+）以上、又は④eGFR50未満の条件を満たす人である。</p> <p>平成27年度すべての条件を満たした対象者は182人で、全員に通知を発送し、事業に参加したのは25人であった。（資料7-3）</p>

【事業の概要】

実施は外部事業者へ委託。

プログラムの内容は、主治医の情報提供書を基に対象者と目標設定をし、対象者に応じて、面接 2 回以上+電話 10 回以上。あるいは、面接 3 回以上+電話 9 回以上、6 か月間保健指導を行う。

【27 年度実施結果】

HbA1c については 25 人中悪化したのは 1 人。24 人は維持又は改善傾向が見られ、eGFR については、ほぼ維持又は改善できていた。

【今後の方針】

平成 28 年度も継続して事業を行う。(資料 7-4)

なお、この事業は委託により実施するため、平成 27 年 6 月 8 日の個人情報保護審議会の諮問結果に基づき実施していく。

平成27年5月における疾病中分類別費用額（疾病別費用額計上位20）

資料 7-1

単位：(円)

	疾病中分類	費用額	件数	1件当たり費用額
1	腎不全	251,902,950	771	326,722
2	高血圧性疾患	190,083,470	19,095	9,955
3	糖尿病	162,001,760	6,799	23,827
4	その他の悪性新生物	161,135,920	1,079	149,338
5	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	155,569,690	2,234	69,637
6	虚血性心疾患	108,503,590	1,544	70,274
7	その他の心疾患	90,438,710	1,364	66,304
8	その他の消化器系の疾患	82,619,700	2,298	35,953
9	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	71,602,900	5,951	12,032
10	脳梗塞	70,582,440	1,167	60,482
11	その他の神経系の疾患	64,319,900	2,388	26,935
12	脊椎障害(脊椎症を含む)	63,318,750	2,749	23,033
13	関節症	58,913,490	2,521	23,369
14	その他の損傷及びその他の外因の影響	58,878,080	2,387	24,666
15	良性新生物及びその他の新生物	57,536,920	1,345	42,778
16	骨折	56,605,990	769	73,610
17	症状、徴候等で他に分類されないもの	47,732,730	2,196	21,736
18	結腸の悪性新生物	45,111,180	383	117,784
19	その他の眼及び付属器の疾患	45,024,930	3,865	11,649
20	屈折及び調節の障害	43,704,460	4,416	9,897
足立区合計		3,120,762,500	122,230	25,532

* 費用額とは、保険者負担と被保険者負担の総額を指す。被保険者の負担割合は年齢等によって異なる。

* 東京都国保連「特定健診・特定保健指導支援システム」より抽出したデータを基に算出。

* 平成27年5月診療の全レセプトを対象とし1レセプトにつき1傷病名を特定して集計(歯科・調剤レセプトは含まない)。傷病名の特定はレセプトにおいて下記優先順位に基づき実施されている。

①主傷病であるもの。

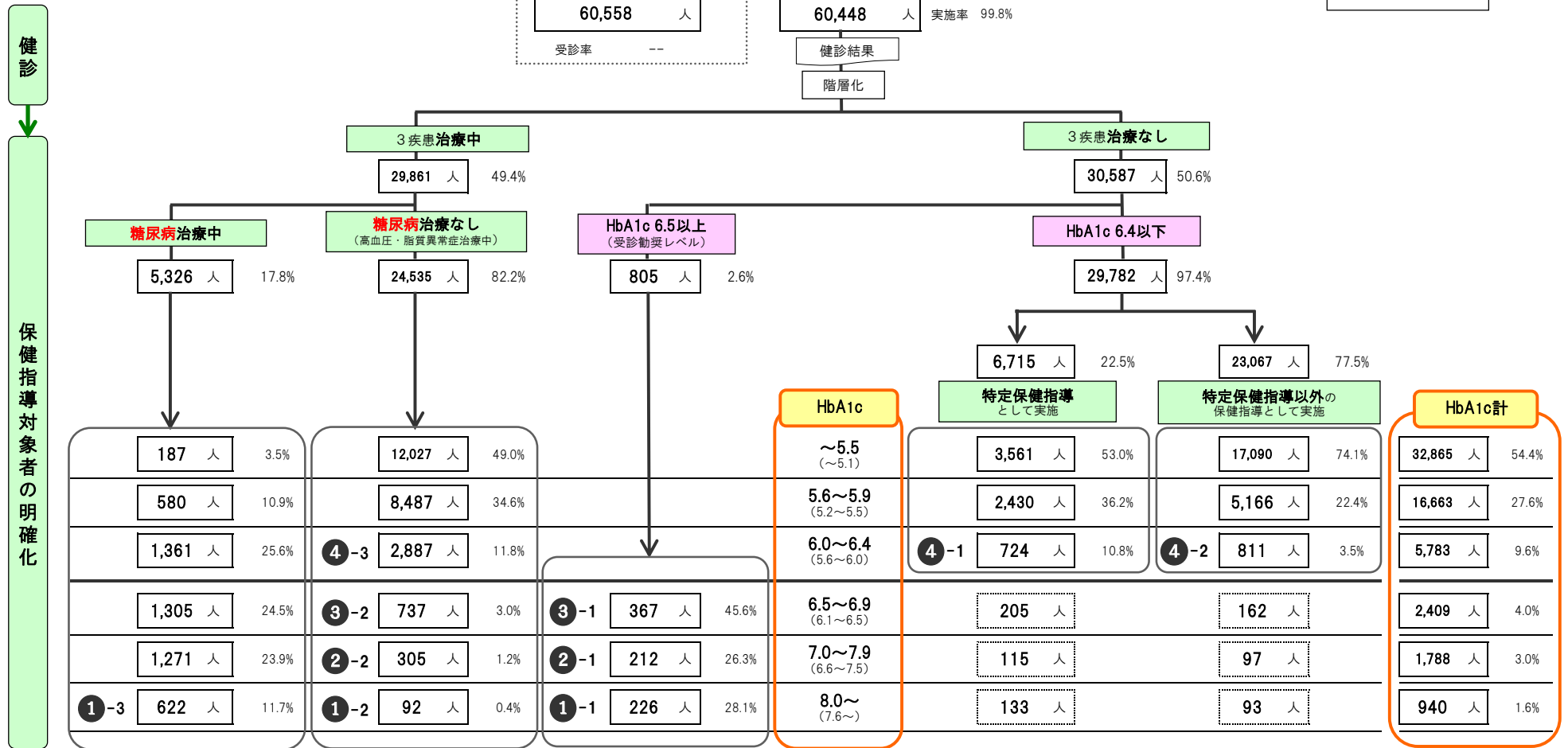
②主傷病が複数にわたる場合、レセプト傷病名項目、最上行かつ最左に位置するもの。

③主傷病がない場合は、レセプト傷病名項目、最上行かつ最左に位置するもの。

* 腎不全には、人工透析が必要な腎不全が含まれる。

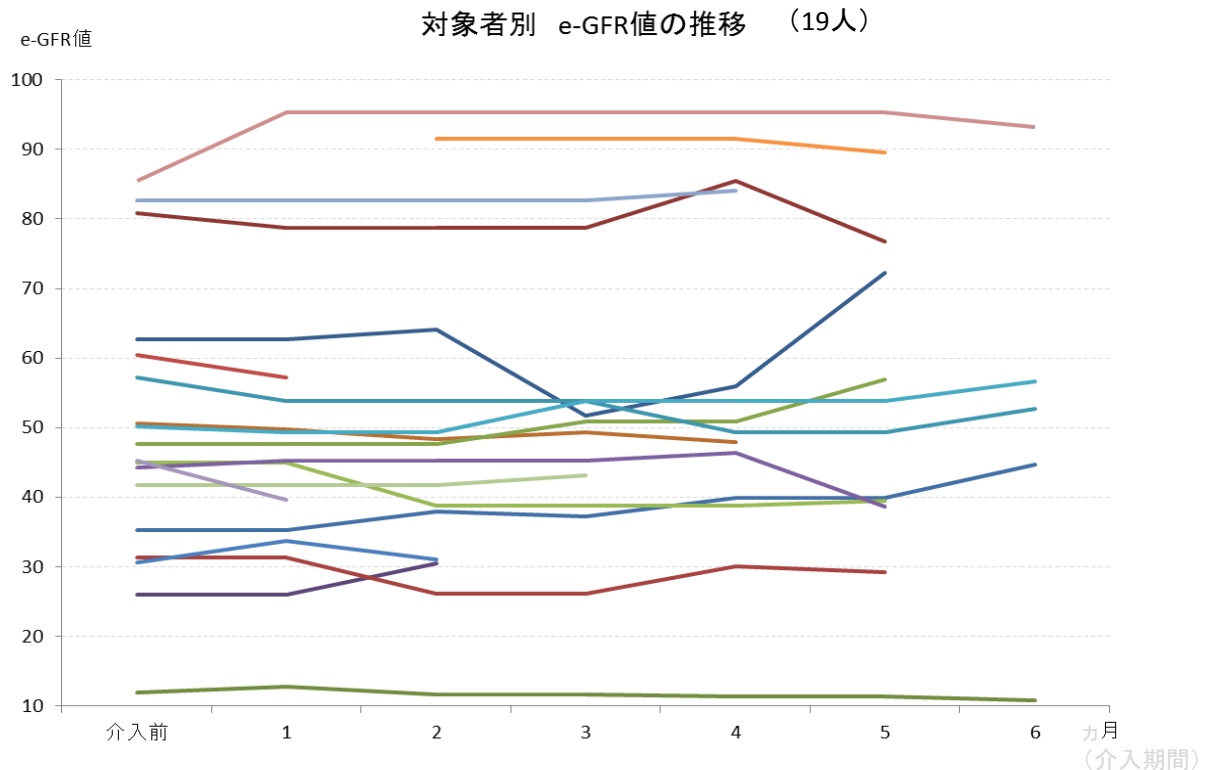
平成27年度特定健診受診者におけるHbA1c検査結果の状況

資料 7-2



平成27年度糖尿病性腎症重症化予防実施結果

26年度の結果		経過					
		HbA1c(NGSP値)					
		6.4以下	6.5~6.9	7.0~7.9	8.0~8.9	9.0~9.9	10以上
25	人	10	2	9	3	1	0
		40.0%	8.0%	36.0%	12.0%	4.0%	0.0%
6.5~6.9	0	0	0	0	0	0	0
7.0~7.9	10	3	2	4	1	0	0
8.0~8.9	9	5	0	4	0	0	0
9.0~9.9	4	2	0	0	1	1	0
10以上	2	0	0	1	1	0	0



平成28年度 糖尿病性腎症重症化予防 対象者

資料 7-4

条件：40-69歳 HbA1c7.0%以上 受診者 1,730人/ 60,558人

eGFR区分 (ml/分/1.73m ²)			尿蛋白区分	正常	微量アルブミン尿 軽度蛋白尿	顕性アルブミン尿 高度蛋白尿	未測定
				A1	A2	A3	
			尿検査・GFR 共に実施		(-) or (±)	(+)	
			1,730 人	1,420 人 82.1%	187 人 10.8%	118 人 6.8%	6 人 0.01%
G1	正常 または高値	90以上	429 人 24.8%	366 人 21.2%	47 人 2.72%	16 人 0.92%	2 人 0.00%
G2	正常または 軽度低下	60-90 未満	1,049 人 60.6%	894 人 51.7%	105 人 6.07%	50 人 2.89%	3 人 0.00%
G3a	軽度～ 中等度低下	50-60 未満	150 人 8.7%	110 人 6.4%	23 人 1.33%	17 人 0.98%	0 人 0.00%
G3b	中等度～ 高度低下	30-50 未満	80 人 4.6%	45 人 2.60%	8 人 0.46%	27 人 1.56%	0 人 0.00%
G4	高度低下	15-30 未満	15 人 0.9%	5 人 0.29%	3 人 0.17%	7 人 0.40%	0 人 0.000%
G5	末期腎不全 (ESKD)	15未満	2 人 0.1%	0 人 0.00%	1 人 0.06%	1 人 0.06%	1 人 0.00%
未測定			2 人 0.00%	2 人 0.00%	0 人 0.000%	0 人 0.000%	0 人 尿検査・GFR 共に未実施

* 平成28年度 糖尿病性腎症重症化予防事業対象者数 (予定)

最優先 対象者	69
対象者	111

地域保健福祉推進協議会

第1回健康あだち21専門部会報告資料

平成28年6月30日

件名	平成26年度糖尿病重症化予防事業における対象者の改善状況																			
所管部課	衛生部こころとからだの健康づくり課																			
内容	<p>糖尿病の重症化を予防し、合併症等で生活の質が低下してしまう区民を減らすため、特定健診を受診後治療をしていない区民に対し、地区担当保健師が個別訪問し受診勧奨等を行った。対象者の検査結果の追跡を行った結果を報告する。</p>																			
	<p>1 対象者：26年度健診受診者で40～59歳までのHbA1c値が7.0%以上で糖尿病治療をしていない区民 231名（男173名、女58名）</p>																			
	<p>2 実施機関と内容</p> <p>【平成26年8月～27年6月】 地区担当保健師が対象者を個別訪問および電話、面接</p> <p>【平成27年9月】 地区担当保健師が治療状況の確認と27年度の特定健診受診勧奨を実施</p>																			
<p>3 結果</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">評価対象者数 (27年度特定健診受診者)</td> <td colspan="2">27年度の特定健診結果でHbA1c値が改善</td> <td colspan="2">うち、HbA1c値7%未満(アンダーセブン)に改善</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">140人</td> <td>男103人</td> <td rowspan="2">110人 (78.5%)</td> <td>男78人</td> <td rowspan="2">60人 (54.5%)</td> <td>男40人</td> </tr> <tr> <td>女37人</td> <td>女32人</td> <td>女20人</td> </tr> </table>						評価対象者数 (27年度特定健診受診者)		27年度の特定健診結果でHbA1c値が改善		うち、HbA1c値7%未満(アンダーセブン)に改善		140人	男103人	110人 (78.5%)	男78人	60人 (54.5%)	男40人	女37人	女32人	女20人
評価対象者数 (27年度特定健診受診者)		27年度の特定健診結果でHbA1c値が改善		うち、HbA1c値7%未満(アンダーセブン)に改善																
140人	男103人	110人 (78.5%)	男78人	60人 (54.5%)	男40人															
	女37人		女32人		女20人															

地域保健福祉推進協議会

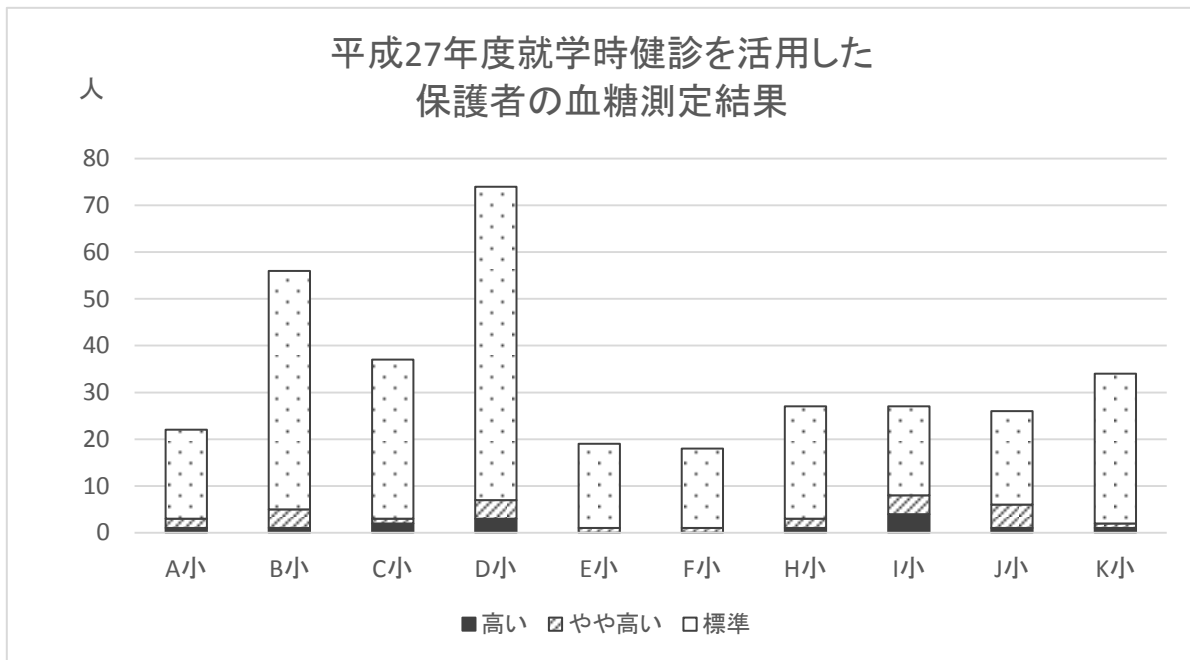
第1回健康あだち21専門部会報告資料

平成28年6月30日

件名	平成27年度就学時健診を活用した保護者への働きかけの結果について
所管部課	衛生部こころとからだの健康づくり課
内容	<p>就学時健診の待ち時間を活用して保護者への糖尿病予防の働きかけを行った。</p> <p>1 目的</p> <p>(1) これから就学する子どもたちが学校で落ち着いて授業を受けるためには、「食事をバランスよく食べることを始めとした正しい生活習慣を身につけることが重要である。「野菜が嫌いな子どもは多いが、野菜を食べることで、脳内の血流量が増え、集中力や記憶力の上昇にもつながる」ことを保護者に伝える。</p> <p>(2) 同行した保護者への簡易血糖検査を通じて、自身や自身の子どもたちのこころとからだの健康に関心を持ってもらう。</p> <p>2 内容</p> <p>簡易血糖検査実施の趣旨の説明 希望者へ簡易血糖測定、結果の説明</p> <p>3 簡易血糖検査実施校・実施結果</p> <p>10校、340人実施 ※実施結果は(資料9-1)参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・血糖測定の結果から血糖値が高い保護者数には学校毎に差があり、区民の健康状態は地域差があることが推測される。 ・血糖測定の際、朝食を食べていなかったり、1日1食など保護者の生活状況の把握ができ、糖尿病と食生活との関連について話す機会となっている。 <p>4 今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・28年度は未実施の学校10校で実施を働きかける予定である。 ・28年度より各学校での就学時健診が受けられなかった児童対象の健診でも実施する予定である。

学校	健診受診者 (組)	簡易血糖測定 数(人)	血糖値		担当センター
			高い (人(%))	やや高い (人(%))	
A小	72	22	1(4.5)	2(9.1)	中央
B小	71	56	1(1.8)	4(7.1)	中央
C小	116	37	2(5.4)	1(2.7)	中央
D小	115	74	3(4.1)	4(5.4)	竹の塚
E小	72	19		1(5.2)	竹の塚
F小	57	18		1(5.5)	江北
H小	51	27	1(3.7)	2(7.4)	江北
I小	99	27	4(14.8)	4(14.8)	千住
J小	48	26	1(3.8)	5(19.2)	東和
K小	45	34	1(2.9)	1(2.9)	東和

※高い人：食後2時間値で140mg/dl以上
 やや高い人：食後2時間値で125～139mg/dl



地域保健福祉推進協議会

第1回健康あだち21専門部会報告資料

平成28年6月30日

件名	「医師会・歯科医師会・薬剤師会連携による糖尿病合併症予防」の仕組みづくりについて									
所管部課	衛生部こころとからだの健康づくり課									
内容	<p>糖尿病重症化予防施策の一環として、糖尿病や合併症が疑われる方を対象に、医師会・歯科医師会・薬剤師会がそれぞれ相互に患者の治療等にかかわり受診勧奨を行う「三師会連携事業」の仕組みを整え、それぞれが手元において活用できるよう連携マニュアルを作成した。</p> <p>(別添 医師会・歯科医師会・薬剤師会連携マニュアル参照)</p> <p>1 目的 医師会・歯科医師会・薬剤師会の三師会がそれぞれ連携し治療等にかかわることで、糖尿病の重症化や歯周病・網膜症等の合併症を防止し、区民のQOL（生活の質）の低下を防ぐ。</p> <p>2 対象 糖尿病でHbA1c 7.0%以上、またはその疑いがある区民</p> <p>3 連携協力医療機関・連携方法 協力医療機関 247医療機関 (内科126、眼科31、歯科80、薬局10) 糖尿病連携手帳に検査結果等を記入して他科へ紹介。それぞれの治療・検査状況も合わせて手帳に記載し、随時情報交換を行う。</p> <p>4 関係機関への説明会等実施状況</p> <table border="0"> <tr> <td>27年 9月14日</td> <td>歯科医師会向け説明会</td> <td>85人参加</td> </tr> <tr> <td>10月15日</td> <td>医師会向け説明会</td> <td>40人参加</td> </tr> <tr> <td>10月28日</td> <td>薬剤師会向け説明会</td> <td>9人参加</td> </tr> </table> <p>28年 1月 三師会連携マニュアル、表示プレートを協力医療機関へ送付</p> <p>5 評価、今後の方針 連携事例のHbA1c値と歯周病の状況について、歯科医師会より情報提供していただき、その結果により事業の評価を行う。 今後も足立区医師会・足立区歯科医師会・足立区薬剤師会それぞれに充分周知を図り、糖尿病重症化予防の強化を図っていく。</p>	27年 9月14日	歯科医師会向け説明会	85人参加	10月15日	医師会向け説明会	40人参加	10月28日	薬剤師会向け説明会	9人参加
27年 9月14日	歯科医師会向け説明会	85人参加								
10月15日	医師会向け説明会	40人参加								
10月28日	薬剤師会向け説明会	9人参加								

地域保健福祉推進協議会

第1回健康あだち21専門部会報告資料

平成28年6月30日

件名	平成28年度6月食育月間の実施について
所管部課	衛生部こころとからだの健康づくり課
内容	<p>6月は国の定める食育月間である。区では、野菜摂取量の少ない若い世代や子どもとその保護者に重点を置いて、野菜を簡単に手軽に食べる実践方法や朝食での野菜摂取の啓発等を実施する（別添パンフレット参照）。</p> <p>※区民の1日あたりの推定野菜摂取量：233g 前年度より13g増加 （資料11-1 平成27年度11月実施の食習慣調査参照）</p> <p>1 期間：6月1日～30日</p> <p>2 主な内容</p> <p>(1) 料理体験教室</p> <p>① 親子で野菜料理教室（7教室）</p> <p>② 簡単朝ベジ教室 イクメン応援！包丁いらずの野菜レシピ教室（2教室）</p> <p>③ 学んで食べよう！ベジタベ教室（北足立市場食育花育PRルーム）</p> <p>④ 父子でつくる簡単野菜料理教室（1教室）</p> <p>⑤ 野菜をつかった料理教室（4教室）</p> <p>⑥ 高校生対象 出張簡単朝ごはん教室（4校）</p> <p>⑦ 野菜料理作り体験（区立保育園）</p> <p>(2) あだちベジタベライフ協力店の特別サービス</p> <p>① ちょっとお得に50円引き（区内飲食店26店舗） 事業協力：東京大学 近藤尚己研究室</p> <p>② ベジタベモーニング提供（区内飲食店11店舗）</p> <p>③ 朝ベジセット販売（区内スーパー1店舗）</p> <p>(3) 講演会・講習会・その他事業</p> <p>① 「野菜の日」の実施・給食だより配布・もりもり給食ウィーク（小・中学校）</p> <p>② 講演会・幼稚園出張栄養教室の実施、食育展示等（各保健センター）</p> <p>(4) 啓発</p> <p>① 簡単朝ベジレシピ情報発信 Aメール配信・クックパッド掲載：各週3回</p> <p>② パネル展示 本庁舎 6/1(水)～10(金) ギャラクシティ 11(土)～30(木)</p>

3 主な参加・協力団体、関係部署

北足立市場・あだちベジタブルライフ協力店・シティプロモーション課
区民参画推進課・地域学習センター(地域文化課)・学務課
子ども施設運営課・キャラクティ(青少年課)

特別協力企業

[卓上ポップ設置・ミニのぼり掲出等:]

セブン&アイ・フードシステムズ(デニーズ)、吉野家、
すかいらく(ガスト、ジョナサンほか)、ビッグボーイジャパン、
セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂]

4 広報・周知

(1) あだち広報5/10号 食育月間特集

(2) リーフレット配布(45,000部作成)

あだちベジタブルライフ協力店、区立保育園・小学校、保健センター等で配布

(3) ポスター掲示(1,500部作成)

あだちベジタブルライフ協力店・保育園・幼稚園・小中学校等で掲示

(4) 懸垂幕(本庁舎・北千住マルイ)・横断幕(本庁舎)

5 今後の方針

今後も「野菜から食べる」「簡単に野菜を食べる」「朝にも野菜を食べる」
取組みを推進する。

区民の野菜摂取量の増加と、子どもや若い世代の適切な食習慣の確立を
目指し、食育月間終了後も啓発を継続する。

足立区 平成 27 年度食習慣調査結果 傾向分析

* 個別の数値は母数が少ない層があるため、いずれも推定値

資料 1 1 - 1

【調査対象】 区内在住の 20 歳以上 60 歳未満（平成 27 年 9 月 1 日現在）の区民 1,000 人 *ただし外国人は除く

【調査期間】 平成 27 年 11 月 1 日～平成 27 年 11 月 30 日

【抽出方法】 住民基本台帳から無作為抽出

【配付方法】 郵送による配付・回収

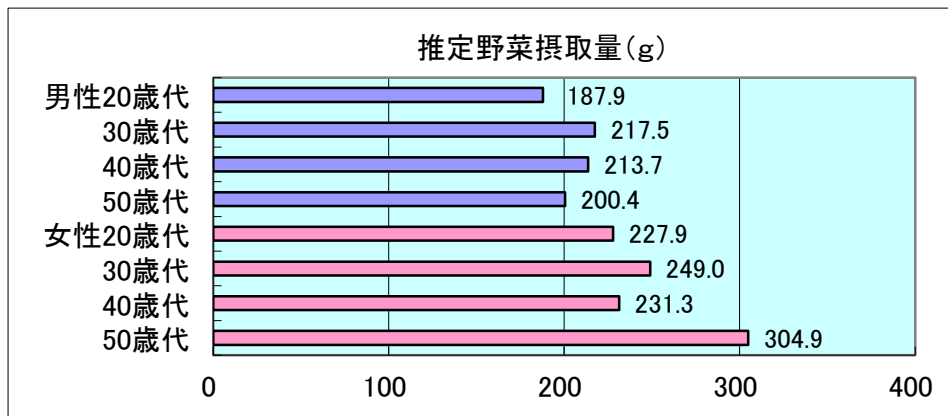
【調査方法】 食習慣質問票 (BDHQ) による調査

【解析対象者】 310 人 (回答者 315 人)

【調査担当課】 ころとからだの健康づくり課

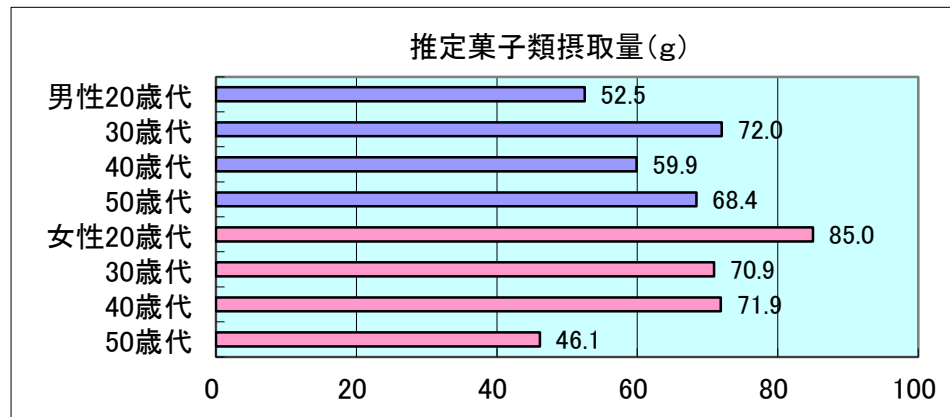
及び、野菜摂取に関するアンケート

1 推定野菜摂取量



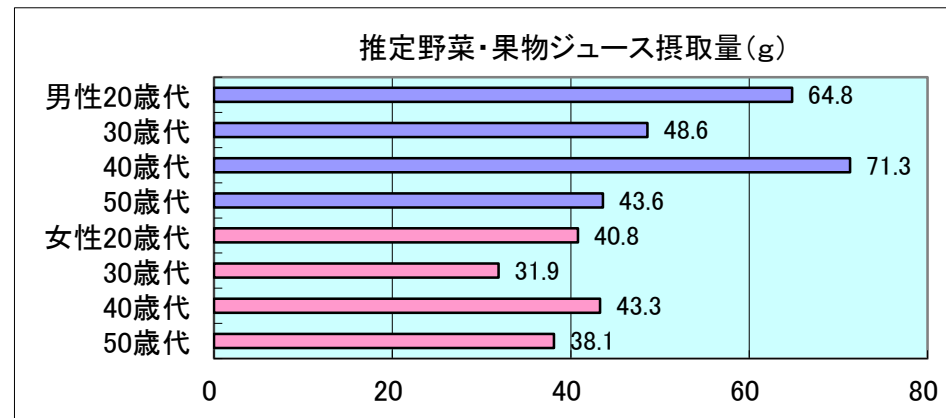
- ・ 区民の推定平均野菜摂取量は 233 g であった。【平成 26 年度は 220 g】
- ・ 国が推奨する 350 g / 日には、約 120 g 足りないということがわかった。
- ・ 女性より男性の方が野菜摂取量は少なく、各年代ごとでも、同じ傾向がみられた。

2 菓子類摂取量



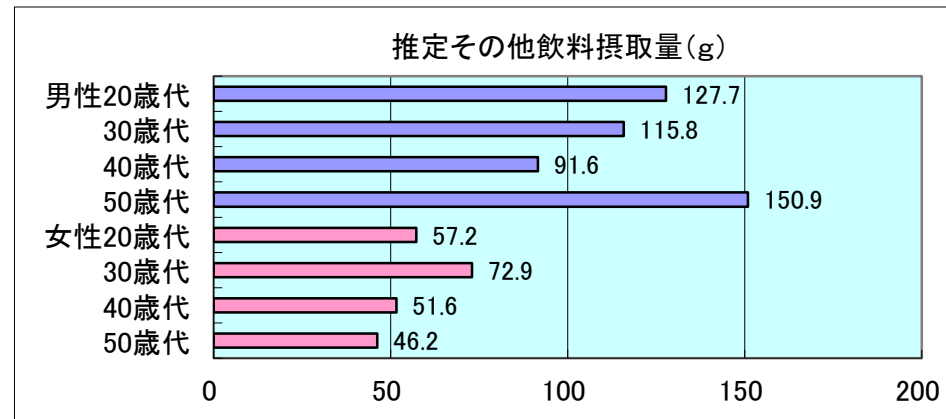
- ・ 若い世代の女性の摂取量が多い傾向にあった。

3 野菜・果物ジュース摂取量



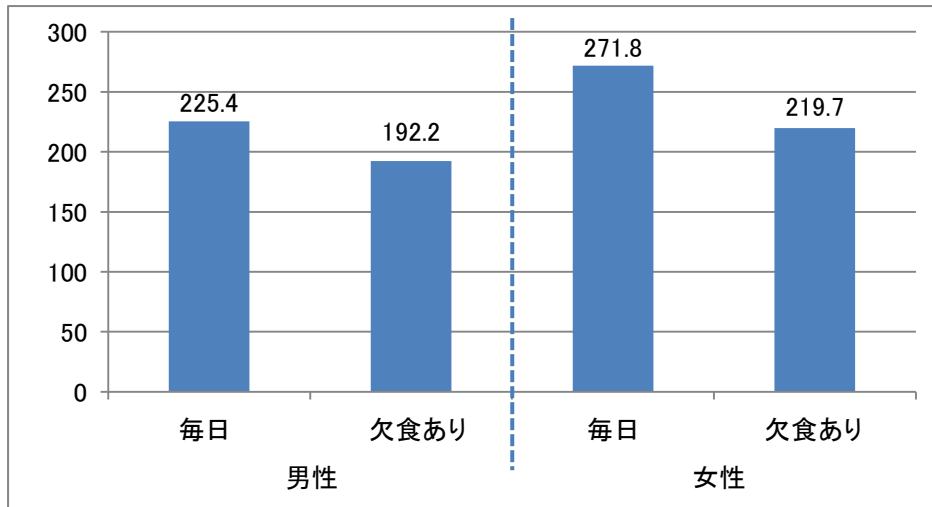
- ・ 「野菜・果物ジュース」は男性の方が摂取量は多かった。
- ・ 特に男性も女性も、推定平均野菜摂取量の少ない年代が野菜・果物ジュースの摂取量が多い傾向があった。

4 その他の飲料摂取量 *その他の飲料は、コーラ・スポーツドリンク等



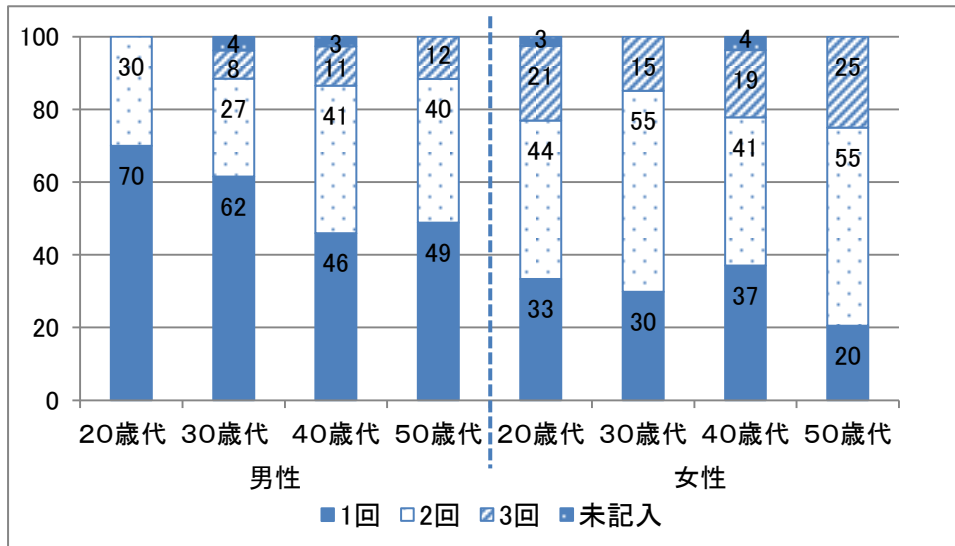
- ・ 「その他の飲料」は男性の方が摂取量が多かった。

5 朝食摂取状況別推定野菜摂取量 (g)



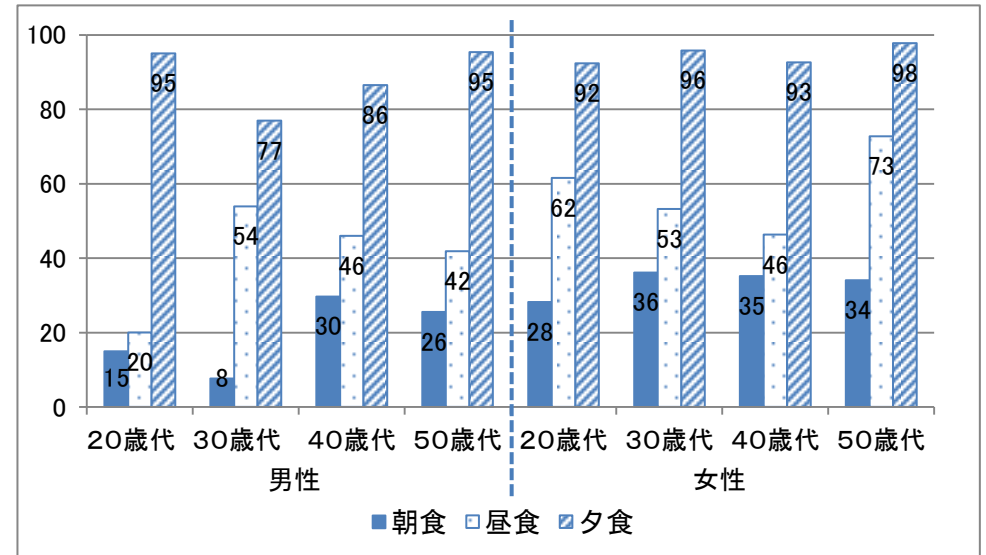
・男女とも、毎日朝食を食べている人のほうが、欠食がある人に比べ野菜摂取量が多い

6 野菜料理の摂取回数 (%)



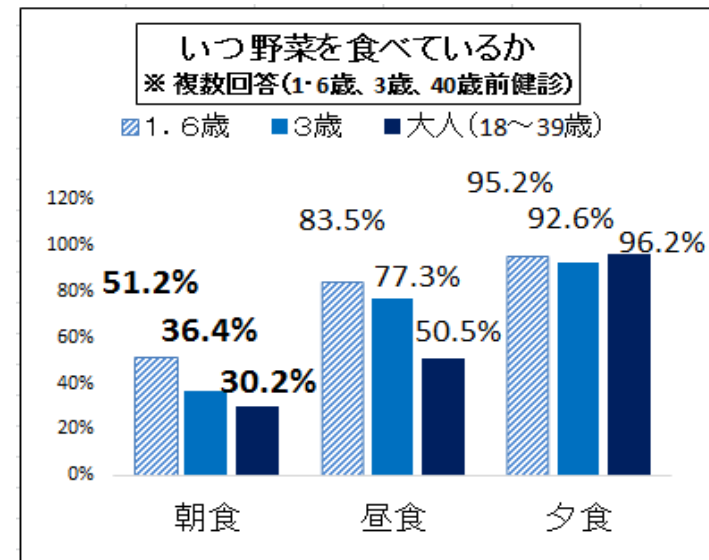
・女性より男性のほうが、摂取回数が少ない傾向であった。

7 野菜料理を食べる食事 (%) * 複数回答



・男女すべての年代で、野菜を一番食べていないのは朝食時であった。

【参考】



(平成27年1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査・40歳前の健康づくり健診)

地域保健福祉推進協議会

第1回健康あだち21専門部会報告資料

平成28年6月30日

件名	足立区糖尿病対策アクションプランに基づく「歯科口腔保健対策」の実施結果と28年度の取り組みについて																														
所管部課	衛生部こころとからだの健康づくり課																														
内容	<p>「足立区糖尿病対策アクションプランー歯科口腔保健対策編ー（平成26年9月策定）」に基づき、特に「0～15歳の歯科口腔保健対策」に重点を置き、関係機関等と連携して事業を実施している。実施結果と28年度の取り組みの概要について報告する。</p> <p>1 「0～15歳の歯科口腔保健対策」の実施結果</p> <p>(1) 「あだちっ子歯科健診」の実施（資料13）</p> <p>(2) 歯科健診後の治療受診勧奨の強化</p> <p>① 3歳児歯科健診フォロー事業の実施</p> <p>平成27年度から、健診後2ヶ月経っても受診結果報告がない家庭に、歯科衛生士が電話で確認している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>勧奨者数 (未処置歯有)</th> <th>結果報告書 の返信者数</th> <th>電話確認 者数</th> <th>受診確認者 数計</th> <th>フォロー 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>496人</td> <td>297人</td> <td>97人</td> <td>394人</td> <td>79.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考】3歳児のむし歯がある子の割合（3歳児歯科健診結果）</p> <p>H26：15.9%</p> <p>H27：14.8%</p> <p>②親子で歯医者さんに行こうリーフレット「みいつけた」を作成し、歯科医療機関への受診啓発（15,000部作成）</p> <p>保育施設・幼稚園、子育てサロン、保健センター等で配布</p> <p>(3) 1歳児親子歯科健診の実施</p> <p>平成27年度から、9か月～1歳2か月児の子どもと保護者対象の「こんにち歯ひろば」で「親子歯科健診」を実施。</p> <p>【実施回数と参加人数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施回数</th> <th>参加者計</th> <th>乳幼児数</th> <th>保護者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>114</td> <td>4,111</td> <td>2,028</td> <td>2,083</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>130</td> <td>4,773</td> <td>2,335</td> <td>2,438</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>130</td> <td>5,358</td> <td>2,612</td> <td>2,646</td> </tr> </tbody> </table>	勧奨者数 (未処置歯有)	結果報告書 の返信者数	電話確認 者数	受診確認者 数計	フォロー 率	496人	297人	97人	394人	79.4%		実施回数	参加者計	乳幼児数	保護者数	H25	114	4,111	2,028	2,083	H26	130	4,773	2,335	2,438	H27	130	5,358	2,612	2,646
勧奨者数 (未処置歯有)	結果報告書 の返信者数	電話確認 者数	受診確認者 数計	フォロー 率																											
496人	297人	97人	394人	79.4%																											
	実施回数	参加者計	乳幼児数	保護者数																											
H25	114	4,111	2,028	2,083																											
H26	130	4,773	2,335	2,438																											
H27	130	5,358	2,612	2,646																											

(4) 6歳臼歯健康教室「ハ(歯)ロー! 6ちゃんクラス」の実施
 永久歯のむし歯を予防するため、保育施設、幼稚園、小学校と連携し、「ハ(歯)ロー! 6ちゃんクラス」を実施している。平成27年度は、私立保育園、小学校への周知を強化した。

・主な内容：6歳臼歯クイズ、口腔内観察、歯みがき指導等

【実施回数と参加者数】※認証保育所は、年長児が1名以上在籍する施設数

施設(H27対象数)	実施数(H26)	実施数(H27)	園児(児童)数	保護者数	合計
認証保育所(12)	2	1	2	0	2
区立保育園(36)	38	32	653	173	826
私立保育園(59)	25	48	915	25	940
区立こども園(3)	2	3	110	14	124
私立幼稚園(52)	23	28	1,535	488	2,023
区立小学校(69)	15	21	1,579	451	2,030
計(231)	105	133	4,794	1,151	5,945

(5) 歯みがき推進支援事業の実施

平成27年度から、保育施設、小学校等における「給食後の歯みがき」や「仕上げみがき」等の取り組みを支援している。

【実績】区立保育園(5)、私立保育園(4)区立こども園(1)区立小学校(1)

(6) あだちっ子・いい歯推進園表彰事業の実施

平成27年度から、「あだちっ子歯科健診(4～6歳)」「規則正しい食習慣・歯みがき習慣づくり」等に積極的に取り組んでいる幼稚園および保育園(所)を表彰し、優れた取り組みを広く区民等に紹介している。

応募総数	25園
表彰園	<ul style="list-style-type: none"> ・区長賞 1園(私立太陽保育園) ・教育長賞 1園(私立城北幼稚園) ・足立区歯科医師会長賞 1園(私立舎人幼稚園) (優秀賞 7園 奨励賞 15園)

2 28年度の主な取り組みについて

- (1) 歯科健診後の受診勧奨を強化するため、3歳児歯科健診に加えて、1歳6か月児歯科健診でもフォロー事業を開始する。
- (2) 「あだちっ子歯科健診」の結果をさらに分析し、年齢別にむし歯になりやすい歯を特定して保護者や各施設に伝えるなど、効果的なむし歯予防につなげていく。
- (3) 「6歳臼歯健康教室」の小学校への周知を強化し、永久歯のむし歯予防に取り組む小学校を増やす。
- (4) 各未就学児施設における取り組みを支援するとともに、「あだちっ子・いい歯推進園表彰事業」への応募数増加を目指す。

第1回健康あだち21専門部会報告資料

平成28年6月30日

件名	平成27年度あだちっ子歯科健診の実施結果について												
所管部課	子ども家庭部子ども政策課、子ども施設整備課、子ども施設運営課、子ども施設入園課 衛生部こころとからだの健康づくり課												
内容	<p>平成27年度あだちっ子歯科健診の実施結果について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 あだちっ子歯科健診の目的 足立区の子どもの歯・口の健康状況は、「未処置歯をもつ子の割合が高い」など、課題が多い状況である。そこで、むし歯が増えやすい4歳（年少児）から6歳（年長児）を対象に、①区統一基準の歯科健診、②丁寧な受診勧奨、③結果集計・分析・フィードバックをセットにした「あだちっ子歯科健診」を実施し、未就学児のむし歯予防および早期の治療、ひいては子どもの貧困対策にも繋がるよう、取り組みを進めている。</p> <p>2 対象者 通園の有無に関わらず、4歳（年少児）から6歳（年長児）までの幼児を対象に実施した。 ※区内の保育園、認証保育所、認定こども園、幼稚園においては、在籍する区外在住者も含めて実施</p> <p>3 実施状況概要 ※詳細は、資料13-1「平成27年度あだちっ子歯科健診実施結果報告書」（以下、「報告書」という）のとおり</p> <p>(1) 実施施設および実施率 年少クラス以上がある区内全ての保育園、認証保育所、認定こども園、幼稚園に呼び掛け、93.6%の施設で実施した。</p> <p>(2) 施設等における健診受診率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区内保育施設、認定こども園、幼稚園</td> <td>15,360人</td> <td>98.8%</td> </tr> <tr> <td>未通園児・区外通園児</td> <td>101人</td> <td>6.8%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15,461人</td> <td>90.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※未通園児・区外通園児は実施にあたり個別通知を発送</p> <p>(3) 未通園児・区外通園児の健診未受診理由 対象者への個別通知の際、健診を希望しない場合にその理由を記載し投函するハガキを同封した。</p>		受診者数	受診率	区内保育施設、認定こども園、幼稚園	15,360人	98.8%	未通園児・区外通園児	101人	6.8%	合計	15,461人	90.7%
	受診者数	受診率											
区内保育施設、認定こども園、幼稚園	15,360人	98.8%											
未通園児・区外通園児	101人	6.8%											
合計	15,461人	90.7%											

	ハガキ返信者数(率)	最も多かった理由 (複数回答可)
未通園児	139人(17.4%)	現在歯科医院に通院している (56.1%)
区外通園児	209人(35.4%)	通っている施設で受けた (80.9%)
合計	348人(25.0%)	

4 歯科健診結果概要

足立区保健衛生システムに登録した子ども（14,699名）の歯科健診結果は、以下のとおりであった。

※(2)、(3)において、端数調整の関係で合計が100.0%にならないものあり

(1) むし歯がある子どもの割合（乳歯）

	あだちっ子 歯科健診	H26年度 特別区平均
4歳（年少児）	19.9%	15.7%
5歳（年中児）	30.3%	24.9%
6歳（年長児）	37.8%	33.6%

乳歯にむし歯がある子どもの割合は、年齢が上がるごとに増加している。また、全ての年齢で平成26年度の特別区平均を上回っている。

(2) 未処置のむし歯がある子どもの割合（乳歯）

	未処置あり	処置完了	むし歯なし
4歳（年少児）	14.7%	5.1%	80.1%
5歳（年中児）	20.7%	9.7%	69.7%
6歳（年長児）	23.7%	14.1%	62.2%

6歳（年長児）では、未処置のむし歯をもっている子どもの割合が23.7%（約4人に1人）と高い。

(3) 5本以上むし歯がある子どもの割合（乳歯）

	5本以上	1～4本	なし
4歳（年少児）	5.9%	13.9%	80.1%
5歳（年中児）	10.6%	19.8%	69.7%
6歳（年長児）	15.1%	22.7%	62.2%

6歳（年長児）の5本以上むし歯がある子どもの割合は、4歳（年少児）の約2.6倍である。

5 経年比からみた成果

(1) 区立保育園における6歳(年長児)のむし歯がある子どもの割合が、3年間で約10ポイント減少。

	H 2 4	H 2 7
4歳(年少児)	26.7%	24.9%
5歳(年中児)	38.5%	35.8%
6歳(年長児)	53.5%	43.3%

(2) 小学1年生のむし歯がある子どもの割合が、2年間で6ポイント減少。

	足立区		特別区平均
H 2 5	47.8%	23位	39.4%
H 2 6	43.7%	22位	37.0%
H 2 7	41.8%	22位	34.9%

特別区における順位は、平成26年度から22位に上昇。

6 今後の課題と方向性

以上のことから、まだむし歯がない(あるいは少ない)早期から、家庭への啓発やむし歯がある子どもの保護者への受診勧奨に力を入れ、健全な口腔内環境を維持していくことが重要である。

報告書を各保育施設等に送付し結果を周知するとともに、早め早めのむし歯予防に繋げていくため、以下の取り組みを実施する。

- (1) 今回の調査結果から、むし歯になる傾向が高い歯を特定し、仕上げみがき等に効果的に取り組めるよう、各施設や家庭に伝える。
- (2) 子どもの歯みがき習慣づくりやむし歯予防に活用できるワークシートを作成し、各保育施設等に配付する。
- (3) 調査結果から、むし歯がある子どもの割合が高かった園に対しては、個別に働きかけ、歯科保健事業の取り組みを強化していく。
- (4) 健診実施率・受診率向上のための取り組み、フォローが必要な子どもの対応の検討を進めていく。

平成27年度 あだちっ子歯科健診実施結果報告書

1 あだちっ子歯科健診の概要

(1) 目的

足立区の子どもの歯・口の健康状況は、「むし歯がある子の割合が特別区平均より高い」「未処置歯をもつ子の割合が高い」「歯や歯肉に所見がある子の割合が高い」など、課題が多い状況です。そこで、平成26年度から「足立区糖尿病対策アクションプランー歯科口腔保健対策編ー」の一環として、むし歯が増えやすい4歳(年少児)～6歳(年長児)を対象に、(公社)東京都足立区歯科医師会、各保育施設、認定こども園、幼稚園等が連携、協調しながら、①統一基準の歯科健診、②丁寧な受診勧奨、③集計・分析・フィードバックをセットにした「あだちっ子歯科健診」を実施し、これまで以上に、未就学児のむし歯予防および早期の治療に繋がるよう、取り組みを進めています。

【あだちっ子歯科健診のポイント】

- ① すべての4～6歳児に統一基準(帳票、健診基準等)の歯科健診を実施
- ② 健診後、歯科受診が必要な子どもの保護者に丁寧な受診勧奨を実施
- ③ 歯科健診結果の集計・分析・フィードバックを実施

(2) 対象者

通園の有無に関わらず、4歳(年少児)から6歳(年長児)の幼児を対象に実施しました。
 ※区内の保育園、認証保育所、認定こども園、幼稚園においては、在籍する区外在住者も含めて実施

(3) 実施方法及び今後の目標

① 統一基準の歯科健診

足立区歯科医師会に委託(区立認定こども園のみ嘱託医)し、施設および会員歯科診療所にて歯科健診を実施します。足立区歯科医師会のご協力のもと、2回の施設内健診、会員診療所での未受診者健診等を行い、さらなる受診率向上を目指します。

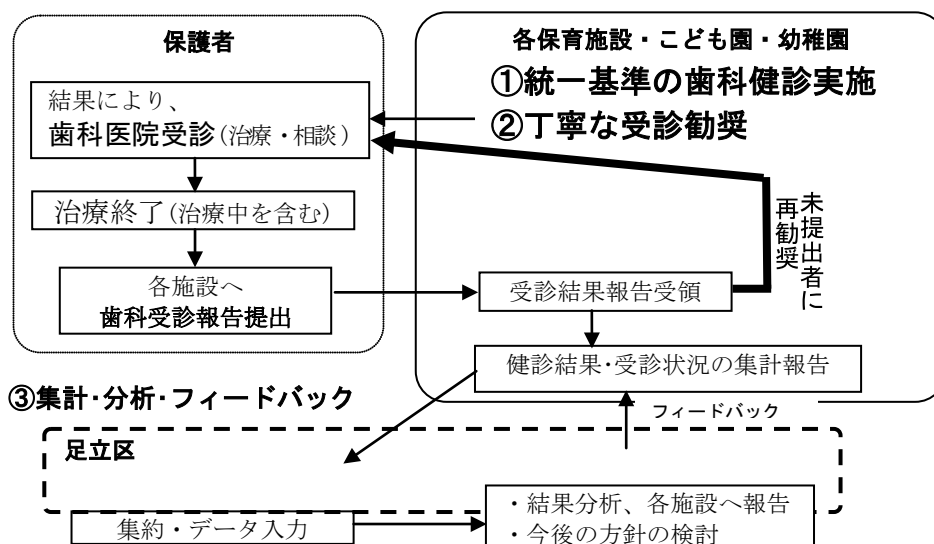
② 受診勧奨

各保育施設・認定こども園・幼稚園のご協力のもと、保護者への丁寧な受診勧奨と受診報告書の確認をしていただき、未治療の子どもを減らします。

③ 結果集計・分析・フィードバックと役割分担

各施設は歯科健診結果を区へ報告し、区は個別結果を個人情報 の適正な管理のもと保健衛生システムに登録の上、集計・分析します。分析結果から、園児や保護者が望ましい生活習慣を獲得できるよう、効果的で具体的な「歯・口の健康づくりの取り組み」を検討・実施していきます。

(図1) あだちっ子歯科健診フロー図



2 あだちっ子歯科健診の実施状況

(1) 実施施設および実施時期

年少クラス以上がある区内全ての保育施設、認定こども園、幼稚園に呼び掛け、93.6%の施設で実施しました。また、区内の保育施設、幼稚園等に通っていない子どもに個別通知することで、全ての4～6歳児に歯科健診の機会を提供しました。

	施設数	参加数	参加率	実施時期	備考
私立幼稚園 私立認定こども園	53	51	96%	平成27年5月～7月	
区立保育園 区立認定こども園	39	39	100%	平成27年9月～11月	こども園の年中年長のみ、平成27年5月～7月実施
私立保育園 公設民営保育園	62	62	100%		
認証保育所	19	10	53%		年少クラス以上を有する施設
未通園児等	H27.12.1を基準日とし対象者を抽出			平成27年12月～1月	未通園児及び区外通園児に通知を送付

※26年度は、認可保育園および一部の認証保育所で実施

(2) 受診状況（各施設からの集計報告による実績値）

施設内における歯科健診の受診率は98.8%、未通園児等は6.8%でした。

※在籍者は、区外在住者を含む

※未通園児の在籍者は、対象者数を記載

	4歳(年少)		5歳(年中)		6歳(年長)		合計(人数)			
	在籍者	受診者	在籍者	受診者	在籍者	受診者	在籍者	受診者	受診率	
私立幼稚園 私立認定こども園	2,927	2,872	3,058	3,011	3,240	3,200	9,225	9,083	98.5%	
区立保育園 区立認定こども園	829	827	904	897	929	921	2,662	2,645	99.4%	
私立保育園 公設民営保育園	1,234	1,226	1,209	1,199	1,143	1,136	3,586	3,561	99.3%	
認証保育所	50	48	16	16	7	7	73	71	97.3%	
未通園児等	未通園児	427	52	220	17	228	6	875	75	8.6%
	区外通園児	190	11	224	7	203	8	617	26	4.2%
合計	5,657	5,036	5,631	5,147	5,750	5,278	17,038	15,461		
受診率	89.0%		91.4%		91.8%		90.7%			

(3) 未通園児等の未受診理由

歯科健診の個別通知の際、健診を希望しない場合にその理由を記載し投函するハガキを同封し、その返信率は未通園児が17.4%、区外通園児が35.4%でした。

	対象者	歯科健診受診		希望しないハガキ		未連絡	
		受診者	受診率	返信数	返信率	人数	割合
未通園児	875	75	8.6%	139	17.4%	661	75.5%
区外通園児	617	26	4.2%	209	35.4%	382	61.9%
合計	1,492	101	6.8%	348	25.0%	1,043	69.9%

最も多い理由（複数回答可）は、未通園児が「現在歯科医院に通院している」56.1%、区外通園児が「通っている施設で受けた」80.9%という結果でした。

- (4) 「足立区保健衛生システム」登録数(足立区民で、適正にシステム登録できた人数)
「足立区保健衛生システム」に登録した人数は、14,699名で、平成27年4月1日を基準日とした対象者の「あだちっ子歯科健診」受診率は、86.4%です。

※対象者は、H27.4.1を基準日とし抽出

	4歳(年少)		5歳(年中)		6歳(年長)		システム登録合計(人)		※未通園児等で通所施設で健診を受けた子(人)
	対象者	登録者	対象者	登録者	対象者	登録者	対象者	登録者	
人数	5,670	4,829	5,620	4,856	5,728	5,014	17,018	14,699	218
区民の受診率	85.2%		86.4%		87.5%		86.4%		

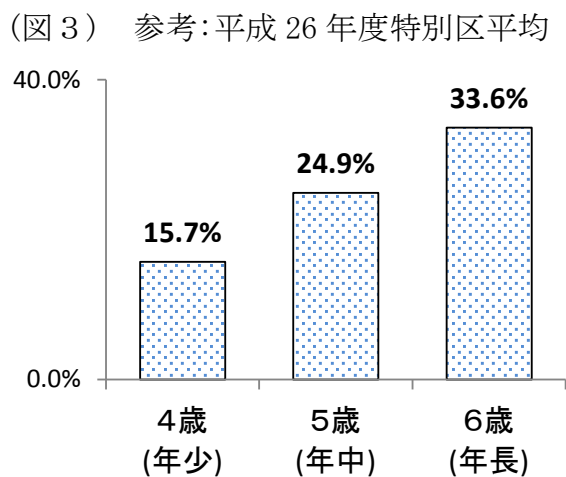
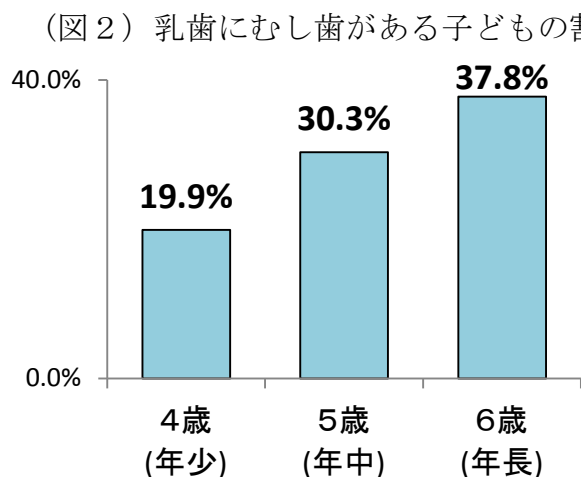
3 歯科健診結果

足立区保健衛生システムに登録した子どもの歯科健診結果は、以下のとおりです。

(1) むし歯の状況

① 年齢別・むし歯がある子どもの割合(乳歯)

乳歯にむし歯がある子の割合は、年齢が上がるごとに増加しています(図2)。また、全ての年齢で、26年度の特別区平均を上回っています。



※平成26年度東京の歯科保健より

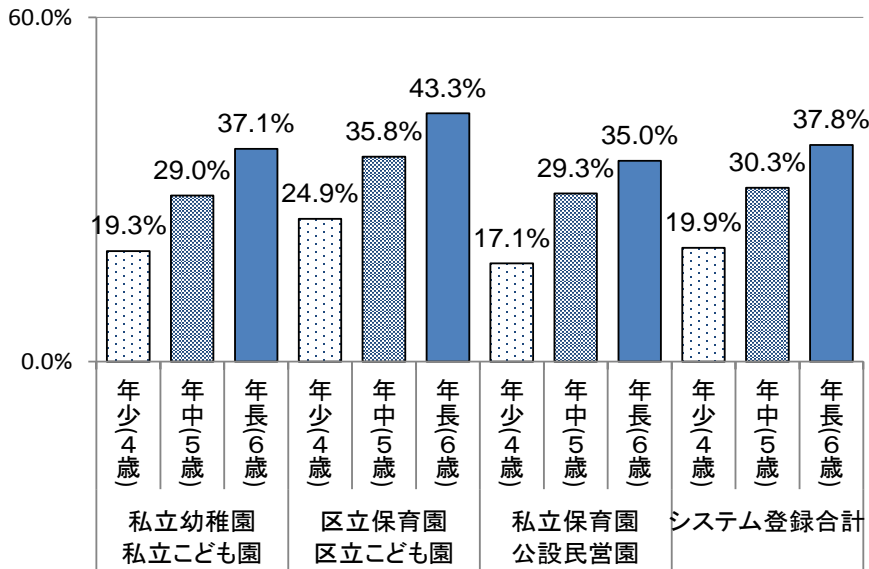
② 施設別・むし歯がある子どもの割合(乳歯)

年齢別にり患率を比較すると、各施設とも、年少から年中児の増加幅の方が、年中から年長児の増加幅より大きくなっています。

※認証保育所・未通園児等はサンプル数が少ないため分析から除いています

	4歳(年少)			5歳(年中)			6歳(年長)		
	受診者	むし歯有	り患率	受診者	むし歯有	り患率	受診者	むし歯有	り患率
私立幼稚園 私立認定こども園	2,681	517	19.3%	2,755	798	29.0%	2,954	1,095	37.1%
区立保育園 区立認定こども園	820	204	24.9%	881	315	35.8%	908	393	43.3%
私立保育園 公設民営保育園	1,219	209	17.1%	1,180	346	29.3%	1,131	396	35.0%
認証保育所	46	9	19.6%	16	8	50.0%	7	6	85.7%
未通園児等	63	20	31.7%	24	6	25.0%	14	4	28.6%
合計	4,829	959	19.9%	4,856	1,473	30.3%	5,014	1,894	37.8%

(図4) 施設別・乳歯にむし歯がある子どもの割合

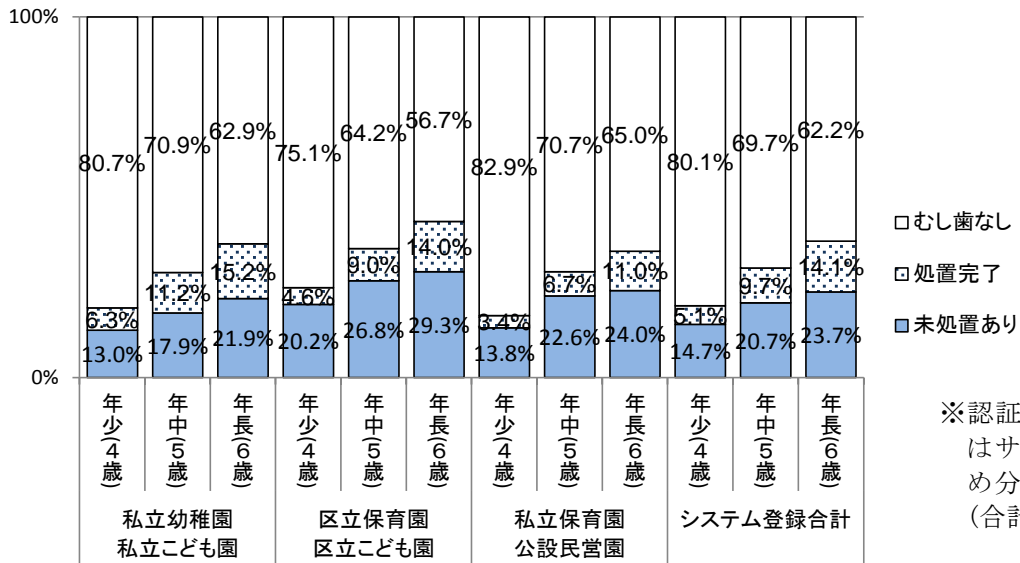


※認証保育所・未通園児等はサンプル数が少ないため分析から除いています(合計には含まれます)

③ 未処置のむし歯がある子どもの割合(乳歯)

年長児では、約4人にひとりが未処置のむし歯を持っています。

(図5) 施設別・乳歯に未処置のむし歯がある子どもの割合

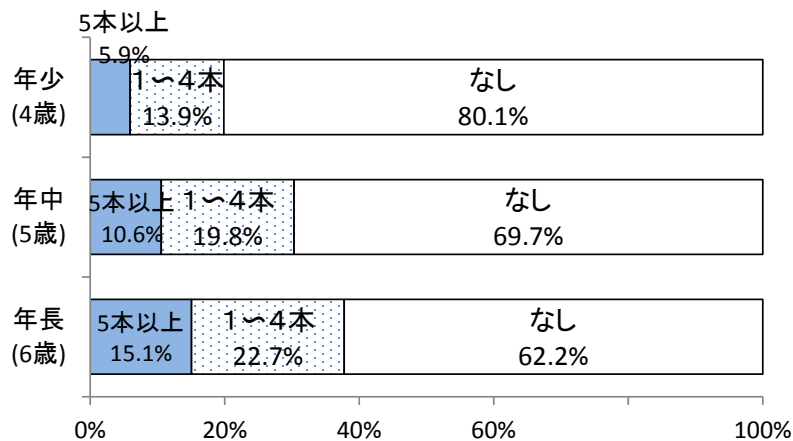


※認証保育所・未通園児等はサンプル数が少ないため分析から除いています(合計には含まれます)

④ 5本以上むし歯がある子どもの割合(乳歯)

年長児の5本以上むし歯がある子どもの割合は、年少児の約2.6倍です。

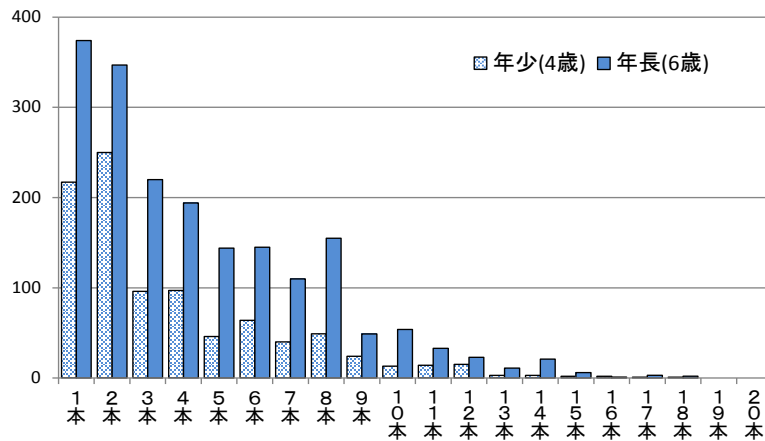
(図6) 5本以上むし歯がある子どもの割合



⑤ むし歯の本数分布

4歳と6歳のむし歯本数を比較すると、多数歯にむし歯がある子の割合が6歳に多くみられます。

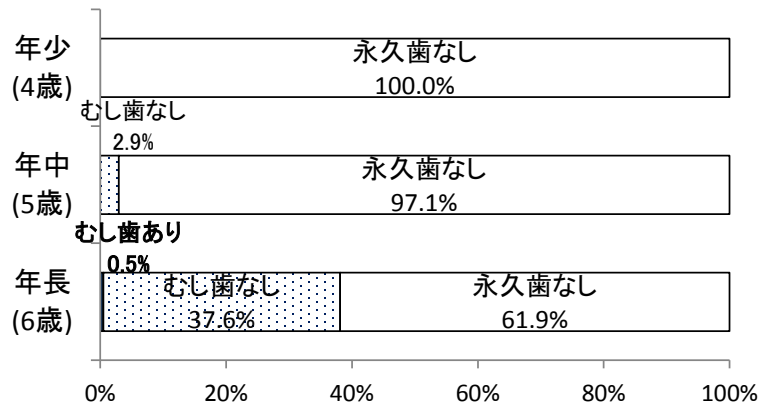
(図7) 年少児(4歳)と年中児(6歳)のむし歯の本数分布比較



⑥ 永久歯の萌出状況とむし歯

5歳の2.9%、6歳の38.1%に永久歯が生え始めています。6歳の0.5%の子どもにむし歯ができていました。

(図8) 永久歯の萌出状況



⑦ 受診報告書提出状況 (施設からの集計報告による実績値)

受診報告書の提出状況の平均値は、約62%でした。受診報告書の提出時期や確認方法を各施設等と確認して、提出率の向上に努めていきます。

※未通園児の受診報告は、ハガキを区に送付する方法で実施しました

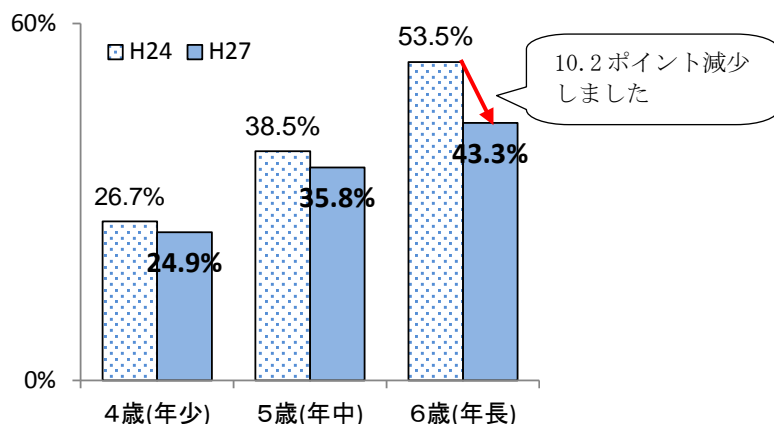
	4歳(年少)		5歳(年中)		6歳(年長)		合計(人数)			
	発行数	報告数	発行数	報告数	発行数	報告数	発行数	報告数	報告率	
私立幼稚園 私立認定こども園	622	394	806	489	1,027	601	2,455	1,484	60.4%	
区立保育園 区立認定こども園	271	170	330	197	375	224	976	591	60.6%	
私立保育園 公設民営保育園	301	212	397	263	415	257	1,113	732	65.8%	
認証保育所	17	10	8	4	2	1	27	15	55.6%	
未通園児等	未通園児	23	12	7	5	3	1	33	18	54.5%
	区外通園児	6	5	1	1	3	2	10	8	80.0%
合計	1,240	803	1,549	959	1,825	1,086	4,614	2,848		
報告率	64.8%		61.9%		59.5%		61.7%			

4 経年比からみた成果

(1) むし歯がある子どもの割合

① 区立保育園(6歳児)のむし歯は、3年間で約10ポイント減少

(図9) 区立保育園の結果(H24・H27の比較)



② 小学1年生のむし歯がある子の割合が、2年間で6ポイント減少
特別区における順位は、平成26年度から22位に上昇しました。

	足立区		特別区平均
H25	47.8%	23位	39.4%
H26	43.7%	22位	37.0%
H27	41.8%	22位	34.9%

(東京都の学校保健統計書)

(2) 足立区糖尿病対策アクションプランー歯科口腔保健対策編ー 目標と実績
27年度の実績は、平成25年度基準値より、向上しています。

	25年度現状	27年度実績	34年度目標値
4～6歳の 歯科健診実施率	幼稚園 91% (私立幼稚園・私立こども園) 認可保育園 100% (認可保育園、区立こども園) 認証保育所 47%	【あだちっ子歯科健診実施率】 幼稚園 96% (私立幼稚園・私立こども園) 認可保育園 100% (認可保育園、区立こども園) 認証保育所 53%	100%
年長児のむし歯 がない子の割合	46.5%(H24) ※区立保育園のみ	62.2%	70%
受診報告書の 提出率	—	幼稚園 60.4% (私立幼稚園、私立こども園) 認可保育園 63.3% (認可保育園、区立こども園) 認証保育所 55.6%	80% 100% 80%

5 28年度の方向性

(1) 歯科健診の実施率（受診率）向上に向けて取り組みます

平成27年度あだちっ子歯科健診の各保育施設等の参加率は全体で93.6%でした。参加率100%を目指し、あだちっ子歯科健診の目的、取り組み内容、効果等を不参加施設に説明することで、参加を促していきます。また、未通園児等については、実施期間の前倒し・拡大など、健診受診率向上のための対策を講じていきます。

(2) フォローが必要な子どもの対応を検討します

未処置のむし歯の本数などからフォローすべきと判断される子どもについては、各保育施設、幼稚園、保健センター等と連携し、受診確認・勧奨を行う仕組みを構築します。未通園児・区外通園児の健診未受診者については対象数が膨大であるため、優先してアプローチすべき対象の絞り込みやフォロー方法等を検討します。

(3) 集計・分析結果を活用し、各施設等の取り組みに繋がります

平成27年度のあだちっ子歯科健診の分析結果から、下記の課題が見えました。

- ・年少児から年中児で、むし歯がある子の割合が10.4ポイント増加している
- ・年長児のむし歯がある子のうち、未処置のむし歯をもつ子は約62.7%と高い割合になっている
- ・5本以上むし歯がある年長児の割合は、年少児の約2.6倍である

以上のことから、家庭への啓発やむし歯がある子の保護者への受診勧奨等、早期からの取り組みが重要であることがわかります。

区は、各保育施設、幼稚園等に歯科健診結果をフィードバックするとともに、下記の3点に重点をおいた取り組みを実施します。

- ① 今回の調査結果から、むし歯になる傾向が高い歯を特定し、仕上げみがき等に効果的に取り組めるよう、各施設や家庭に伝えていきます。
- ② 子どもの歯みがき習慣づくりやむし歯予防に活用できるワークシートを作成し、保育施設・幼稚園等に配布します。
- ③ 調査結果から、むし歯がある子どもの割合が高かった園に対しては、個別に働きかけ、歯科保健事業の取り組みを強化します。

【問合せ先】

●あだちっ子歯科健診の実施に関すること

足立区教育委員会子ども家庭部子ども政策課 03-3880-5266

●あだちっ子歯科健診の結果分析に関すること

足立区衛生部こころとからだの健康づくり課 03-3880-5433

地域保健福祉推進協議会

第1回健康あだち21専門部会報告資料

平成28年6月30日

件名	足立区糖尿病対策アクションプラン 保育園での取り組みについて
所管部課	子ども家庭部子ども施設運営課
内容	<p>1 「食育・野菜の日」の実施 野菜への興味を深め、野菜を食べる機会を増やすことを目的として、旬野菜のテーマを決め、毎月19日にその食材を給食で使用する。また、園児による野菜の収穫体験や調理体験を通して、野菜好きな子を育てる。さらに、保護者へのレシピ・啓発メモの配布等で野菜摂取を呼びかける。</p> <p>2 野菜の栽培から収穫、調理体験の充実 各園様々な野菜等を栽培し、収穫体験を行っている。特に28年度は、小松菜の種を区立（38園）と私立（70園）に配布し、足立区の農家の方に協力を呼びかけ、4ヶ所で栽培から収穫までの講習会を開催した。食育・野菜の日（6月20日）には、農家の方や保護者に参加を呼びかけ、収穫に立ち会ってもらおう予定である。また、5歳児中心に収穫した小松菜を調理し、みそ汁にして食べる予定である。</p> <p>区立園は、26年度からはホットプレート、27年度からはガラス鍋、28年度からは包丁・まな板を活用した調理体験を積極的に実施する。食べられる野菜の種類が増えたと86%の保護者が回答した。</p> <p>3 保護者の給食体験 給食をきっかけとして保護者の野菜への関心を高め、家庭での野菜摂取につなげられるよう、25年8月より区立園で保護者の給食体験を実施した。26・27年度共に約300名の参加があった。 28年度も積極的に保護者に参加を促し、実施する。</p> <p>4 一口目は野菜から 25年9月から3～5歳児を対象に「一口目は野菜から」の声かけを行うことにより、野菜摂取の意識付け及び習慣化を図ることを目的として実施している。私立園にも推進を呼びかけている。 26・27年度に区立園で実施したベジタベアンケートにおいて家庭</p>

	<p>において野菜から食べている園児（3～5歳児）の割合は、平均31%から36%に上昇した。（資料14-1）</p> <p>28年度も引き続きアンケートを実施し、取り組みの効果を確認していく。</p>
--	--

平成26・27年度 あだちベジタベライフ～そうだ、野菜を食べよう～アンケート集計結果

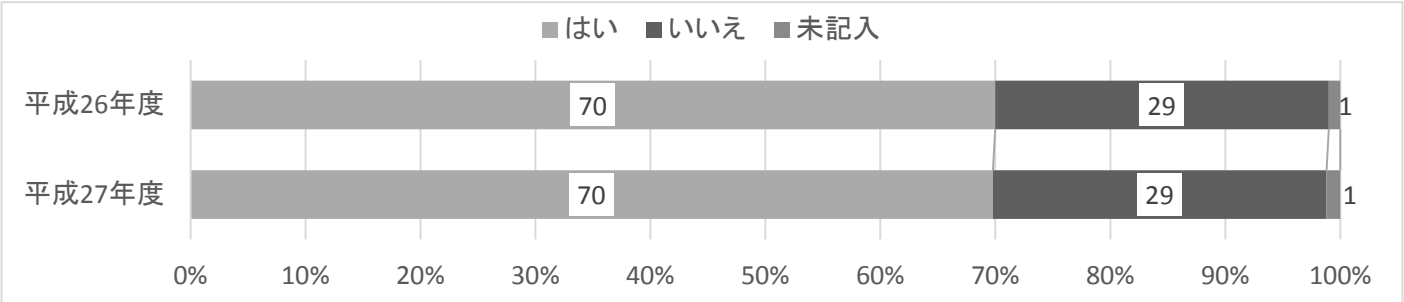
区立園の3・4・5歳児対象に平成26年・27年にベジタベアンケートを実施しました。記入者は保護者で9割以上は母親が回答しています。

アンケート集計 平成27年度
 配布：2651枚（区立園39園）
 回収：2307枚（回収率87%）

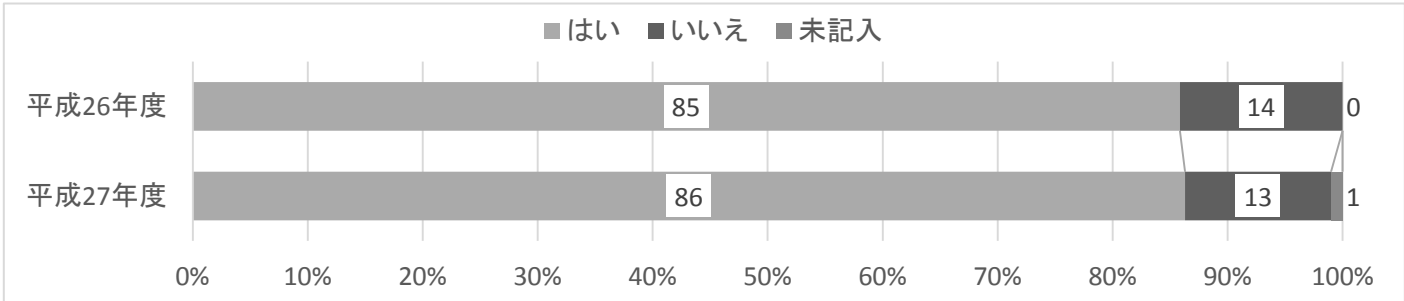
平成26年度
 配布：2791枚（区立園41園）
 回収：2236枚（回収率80%）

1 お子さんの家庭での食べ方結果

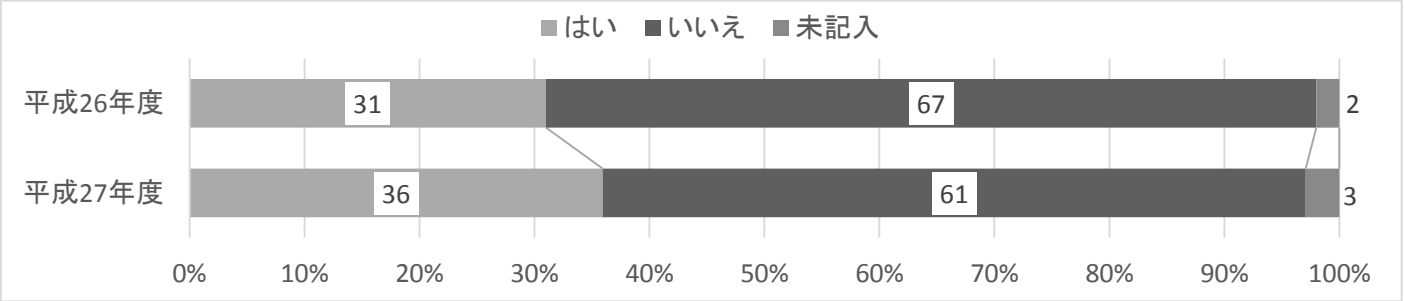
①お子さんは野菜を自分から食べようとしていますか？



②お子さんは食べられる野菜の種類が増えていますか？

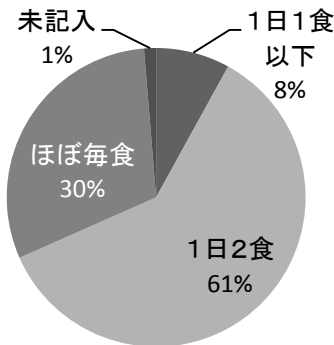


③お子さんは「ひと口目は野菜から」食べていますか？



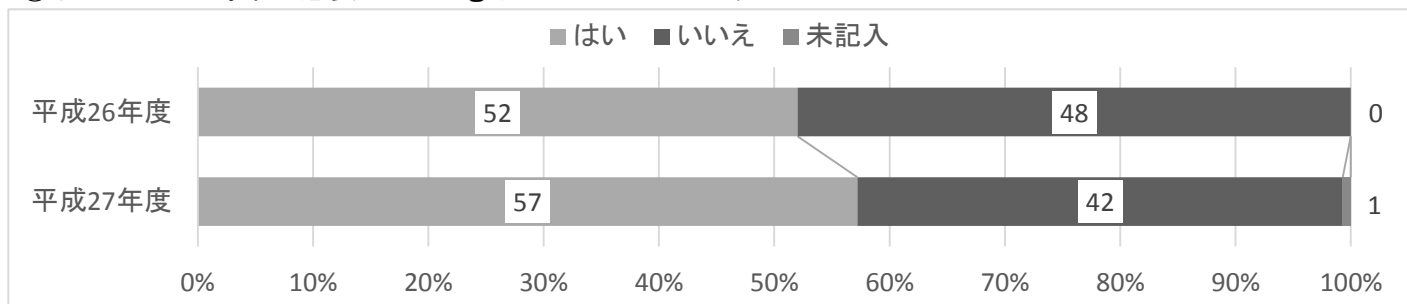
④お子さんは野菜料理をどのくらい食べていますか？

平成27年度

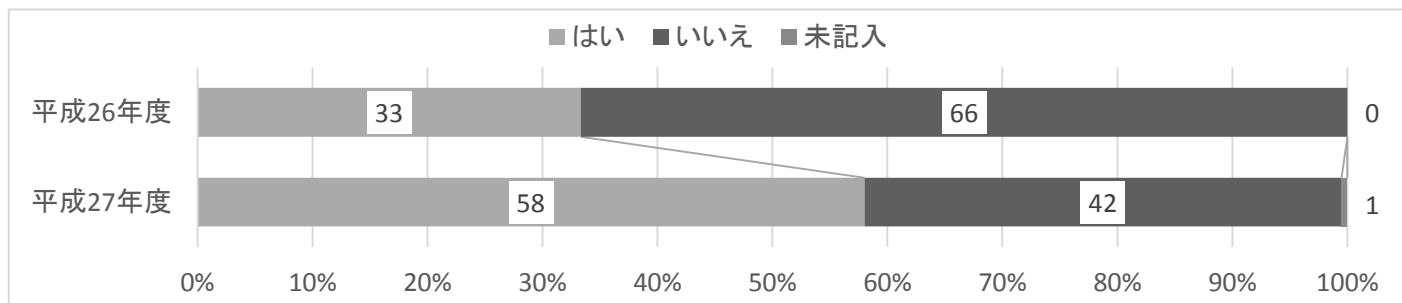


2 記入者（保護者）の方の結果

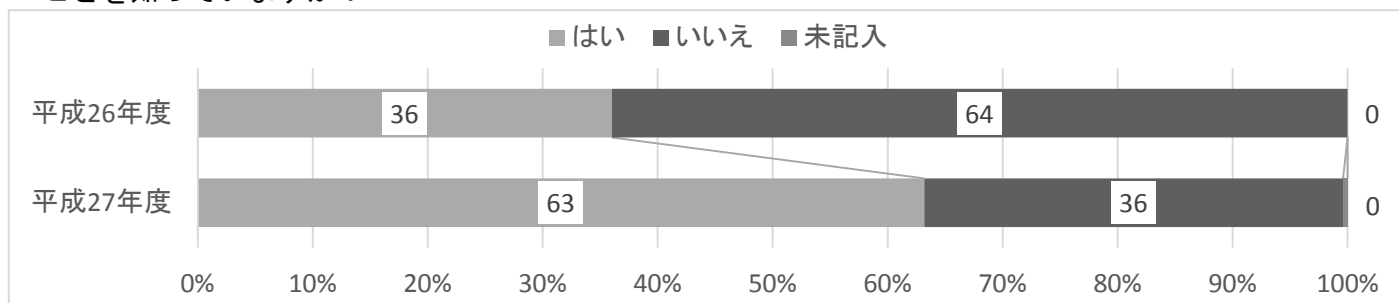
①成人の1日の野菜の必要量は350g以上と知っていますか？



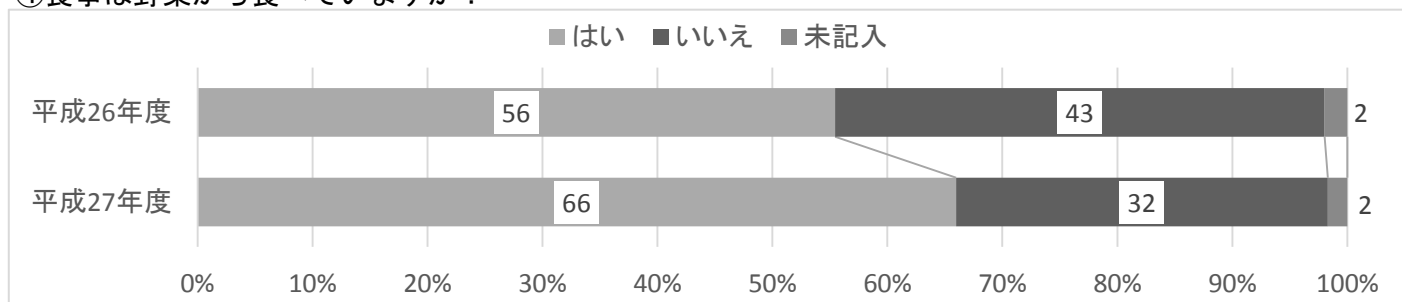
②足立区は糖尿病予防対策として、あだちベジタベライフという野菜を食べて糖尿病を予防する取り組みをしています。そのことを知っていますか？



③保育園・こども園で『ひと口目は野菜から』食べるベジファーストという取り組みをしていることを知っていますか？

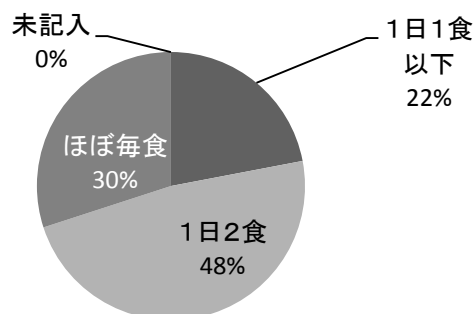


④食事は野菜から食べていますか？

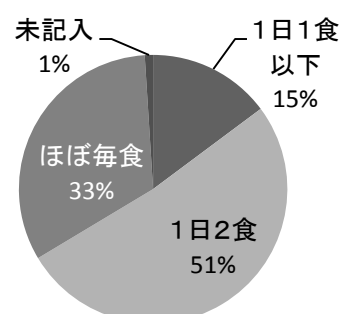


⑤野菜料理はどのくらい食べていますか？

平成26年度



平成27年度



第1回健康あだち21専門部会報告資料

平成28年6月30日

件名	足立区糖尿病対策アクションプラン 小中学校での取り組みについて																																	
所管部課	学校教育部学務課																																	
内容	<p>1 「野菜の日」給食等の実施について</p> <p>(1) 平成27年2月から平成28年1月(8月を除く)まで、11ヶ月の旬の野菜を学校グループ(小学校8、中学校4)ごとに献立検討し、毎月1回学校毎に「野菜の日」給食を提供。クラスや掲示板、お昼の放送等で野菜摂取の啓発と食育を実施する。</p> <p>(2) 各小・中学校で配布している給食だよりに「野菜の日」給食の家庭用レシピを掲載、また、衛生部が実施しているAメール「おすすめレシピ」を活用して、野菜をテーマに給食献立を配信するなど、家庭での野菜摂取を推進する。</p> <p>2 小児生活習慣病予防健診の事後指導の取り組み結果について</p> <p>(1) 事後講演会の実施</p> <p>① 日程等：平成28年12月19日(土) 場所：足立区庁舎ホール</p> <p>② 対象者：平成27年度健診を受診した中学2、3年生及び保護者</p> <p>③ 内容等：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演「小児生活習慣病～肥満・高コレステロール血症について」 東京女子医科大学東医療センター小児科教授 杉原茂孝医師 61名 ・個別相談(医師相談11件・栄養相談19件) ・衛生部による簡易血糖測定(血糖・HbA1c) 33名測定 <table border="1"> <thead> <tr> <th>HbA1c 値 (%)</th> <th>～5.5 (異常なし)</th> <th>5.6～6.4 (保健指導)</th> <th>6.5～ (糖尿病が強く疑われる)</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>17人</td> <td>4人</td> <td>0人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>12人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 事前事後指導について 各校にて養護教諭を中心に実施</p> <p>① 指導上、連携した職種、活用した社会資源等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>学校医</th> <th>栄養士</th> <th>学年教員</th> <th>保健センター</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事前指導</td> <td>2校</td> <td>11校</td> <td>22校</td> <td>2校</td> <td>2校</td> </tr> <tr> <td>事後指導</td> <td>7校</td> <td>27校</td> <td>14校</td> <td>4校</td> <td>4校</td> </tr> </tbody> </table>	HbA1c 値 (%)	～5.5 (異常なし)	5.6～6.4 (保健指導)	6.5～ (糖尿病が強く疑われる)	合計	保護者	17人	4人	0人	21人	生徒	12人	0人	0人	12人		学校医	栄養士	学年教員	保健センター	その他	事前指導	2校	11校	22校	2校	2校	事後指導	7校	27校	14校	4校	4校
HbA1c 値 (%)	～5.5 (異常なし)	5.6～6.4 (保健指導)	6.5～ (糖尿病が強く疑われる)	合計																														
保護者	17人	4人	0人	21人																														
生徒	12人	0人	0人	12人																														
	学校医	栄養士	学年教員	保健センター	その他																													
事前指導	2校	11校	22校	2校	2校																													
事後指導	7校	27校	14校	4校	4校																													

② 指導方法について

	集団指導	個別指導	保健たより等	その他
事前指導	22校	4校	20校	3校
事後指導	13校	33校	16校	5校

- ・パワーポイントの作成やパンフレットを活用した集団指導
- ・保健センターとの連携による集団指導「野菜を食べよう」
- ・有所見者へ養護教諭・栄養士による個別指導 食事日誌の活用 等

地域保健福祉推進協議会

第1回健康あだち21専門部会報告資料

平成28年6月30日

件名	足立区糖尿病対策アクションプランに基づく平成28年度事業の主な取り組みについて
所管部課	衛生部こころとからだの健康づくり課
内容	<p>「足立区糖尿病対策アクションプラン」に基づき、平成28年度に実施する主な事業を報告する。</p> <p>1 野菜が食べやすい環境づくり</p> <p>(1) あだちベジタベライフ協力店 朝から野菜が食べられる「ベジタベモーニング」の提供店舗を増やす。【目標：15店舗】</p> <p>(2) 区ホームページやクックパッドにおける啓発 若い世代に対して、野菜を「手軽に」「気軽に」食べられる調理法などの啓発を実施する。【目標：新規レシピ開発24品、クックパッドへの掲載24回、区ホームページへの掲載50回】</p> <p>(3) 北足立市場協会との連携 地域の小売店と消費者を繋ぐツールの一つとして、北足立市場協会と連携して、青果店で野菜レシピカードの配布を行う。</p> <p>2 子ども・家庭の良い生活習慣の定着</p> <p>(1) 糖尿病対策アクションプラン「歯科口腔対策編」の推進 小学校での6歳臼歯育成事業をさらに拡充する。 【目標：25校】</p> <p>(2) 歯科健診後の治療受診勧奨のさらなる強化 3歳児歯科健診後のフォローに加え、1歳6か月児歯科健診においても健診後のフォロー事業を実施し、より早期から歯科受診に繋げる。</p> <p>(3) 区立保育園における野菜料理作り体験（子ども家庭部） 小松菜の栽培から、収穫、調理までをセットにした野菜料理作り体験を実施する。 区立の全保育園（5歳児と一部4歳児）、約1,000人</p>

(4) 就学時健康診断追加健診における HbA1c 値測定

各小学校で就学時健康診断を受診できなかった児童に対して1月に行われる追加健康診断会場にて、保護者に HbA1c 値測定を実施する。

(5) 区内都立高校との連携

栄養士が区内都立高校へ出張し、高校生にバランスのよい食事の選び方や簡単野菜レシピを中心とした調理実習等を実施する。区内の全都立高校での実施を目指す。

3 糖尿病重症化予防

(1) 重症化予防訪問

①保健師・栄養士による個別訪問

保健師による訪問に加え、栄養指導の効果が見込まれる主婦層に対しては、栄養士による個別訪問を引き続き実施する。

②保健師・栄養士と主治医との連携強化

訪問対象者への指導内容等を主治医へ随時報告し、連携を強化する。

(2) 医師会、歯科医師会、薬剤師会の連携による糖尿病合併症予防の仕組みづくり

①個別マッチングの実施

内科、眼科、歯科医師等へ個別に働きかけを行い、連携が有効に機能した事例を積み上げる。

②治療効果の検証

HbA1c 値と歯周病の治療状況について検証し、三師会と情報の共有化を図る。

(3) 医療費削減効果の検証

これまでの糖尿病対策事業の効果を示すため、一人あたりの糖尿病治療にかかる医療費について数値化を図る等、成果の見える化を検討する。

(4) 各種イベントでの血糖値測定

区主催・主催外を問わず、若い世代が集まるイベントや乳幼児健診会場等において、より正確な測定ができる HbA1c 値測定を積極的に実施する。

5 今後の方針

健康寿命の延伸に向け、健康に関心がある層だけでなく無関心層も巻き込んだ健康づくりを全庁横断的に推進していく。また、各種調査結果や健康データを詳細に分析し、効率的・効果的に対策を講じていく。

地域保健福祉推進協議会

第1回健康あだち21専門部会報告資料

平成28年6月30日

件名	平成27年度「子どもの健康・生活実態調査」の実施結果及び平成28年度以降の実施方法について																
所管部課	衛生部こころとからだの健康づくり課																
内容	<p>平成27年度、国立研究開発法人国立成育医療研究センターと協働で実施した「子どもの健康・生活実態調査」の結果及び平成28年度以降の調査方法について、下記のとおり報告する。</p> <p>1 平成27年度実施結果について</p> <p>(1) 調査対象者 区立小学校に在籍する小学1年生5,355人の保護者</p> <p>(2) 調査方法 無記名アンケート方式（足立区個人情報保護審議会において了承された方法）により、区が学校を通じて質問票や回答票の配付・回収を行い、国立研究開発法人国立成育医療研究センターが結果の集計・分析を実施した。</p> <p>(3) 調査内容 子どもの健康状態や生活習慣、保護者自身の健康状態や子どもとの接し方、経済状況等（食習慣、歯磨き習慣、生活リズム、自己肯定感、就業状況、世帯の収入、社会的つながり等）</p> <p>(4) 回答票の回収件数及び有効回答数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>調査対象者数 a</th> <th>回答票の回収件数 b</th> <th>回答票の回収率 b/a (%)</th> <th>有効回答数 c</th> <th>有効回答率 c/a (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>69校計</td> <td>5,355</td> <td>4,467</td> <td>83.4</td> <td>4,291</td> <td>80.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 調査の分析方法 本調査では、子どもの貧困状態を家庭環境で捉え、①世帯年収300万円未満の世帯、②子どもの生活に必要なと思われる物品や5万円以上の貯金がない状況の世帯、③経済的理由でライフライン等の</p>						調査対象者数 a	回答票の回収件数 b	回答票の回収率 b/a (%)	有効回答数 c	有効回答率 c/a (%)	69校計	5,355	4,467	83.4	4,291	80.1
	調査対象者数 a	回答票の回収件数 b	回答票の回収率 b/a (%)	有効回答数 c	有効回答率 c/a (%)												
69校計	5,355	4,467	83.4	4,291	80.1												

支払いができなかった世帯、これらのいずれかに該当する世帯で暮らす子どもを「生活困難」世帯で暮らす子どもと定義したうえで、比較分析を実施し、報告書を作成した。
(別添 子どもの健康・生活実態調査報告書【概要版】)

2 平成28年度以降の実施方法について

(1) 教育委員会が実施する調査の利活用

調査に協力していただく保護者や児童の負担軽減と回答結果の精度向上のため、「子どもの健康・生活実態調査」と重なる質問項目(生活リズム、読書週間、給食の摂取状況、歯みがき習慣、テレビやゲームの視聴時間等)について、「足立区基礎学力定着に関する総合調査(学習意識調査)」の結果を活用する。活用方法については、足立区個人情報保護審議会において了承された方法で行う。

(2) 実施年度及び調査対象学年の変更(資料17-1)

平成27年度に始めた妊娠期支援の評価を行うため、小学1年生を対象とした定期的な調査の実施年度を変更する。また、今後行う追跡調査の結果を比べるとともに、現在の他年代の実態を把握するため、小学4年生・6年生・中学2年生の一部を対象者に加え、継続的に調査を行う。

3 今後の方針

平成27年度の調査結果を来年度以降の事業に反映できるよう関係部署・機関(校長、養護教諭、PTA、青少年委員、健康づくり推進員、学校教育部、子ども家庭部等)に報告する。

子どもの健康・生活実態調査 実施年度及び調査対象学年

資料 17-1

【当初案】

年度	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)
対象者その1 (2008年生まれ)	小1 【実施済】	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
対象者 その2		小1 (2009年 生まれ)		小1 (2011年 生まれ)		小1 (2013年 生まれ)		小1 (2015年 生まれ)	

対象者その1：因果関係は後から起こるため、時間がたってから調べる。同じ人（集団）を継続的に見てどう変わるかをみていく。

対象者その2：同じ年代を毎年見ていく調査は政策の評価に向いている。妊娠期の支援の評価は毎年小1に調査することで、評価ができる。

【変更案】

年度	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)
対象者その1 (2008年生れ)	小1 【実施済】	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
対象者 その2			小1 (2010年 生まれ)		小1 (2012年 生まれ)		小1 (2014年 生まれ)		小1 (2016年 生まれ)
対象者 その3		小4、小6、 中2（一部）		小6、中2 （一部）		中2 （一部）			

対象者その1：因果関係は後から起こるため、時間がたってから調べる。同じ人（集団）を継続的に見てどう変わるかをみていく。

対象者その2：同じ年代を毎年見ていく調査は政策の評価に向いている。2015年から始めた妊娠期支援の評価は2016年生まれの小1を調査することで、可能となる。

対象者その3：①今後行う追跡調査の結果を比べるため、また、②現在の他年代の実態を把握するため、小4、小6、中2の一部を継続的に調査する。